



項 目	令和6年度版 頁番号	内 容
3-1-2-6 配水池設計における3次元効果に係る補正	新設	・補正係数の追加
3-1-3 補正		
3-1-3-1 設計対象容量に係る補正	237～238	・表記の修正
第3節 浄水場設計歩掛		
3-3-1 適用範囲	246	・適用範囲の追記
3-3-2 基本歩掛		
3-3-2-2 実施設計(詳細設計)	261～265	・第4-1～5表 備考 表記の修正と追記
	268～278	・第5-1～5表 備考 表記の修正と追記
3-3-2-5 浄水場設計における2次元静的非線形解析に係る補正	新設	・補正係数の追加
3-3-2-6 浄水場設計における3次元効果に係る補正	新設	・補正係数の追加
3-3-3 補正		
3-3-3-1 設計対象水量に係る補正	279～280	・表記の修正
第4章 耐震補強設計歩掛		
第2節 配水池 耐震診断(詳細診断)歩掛及び耐震補強設計歩掛		
4-2-1 適用範囲	290	・第1表 適用範囲の追記  ・第2表 表記の削除
4-2-2 基本歩掛		
4-2-2-1 耐震診断(詳細診断)	291～293	・第3-1～3表 備考 表記の修正と追記
4-2-2-2 耐震補強工事の実施設計	293～294	・第4-1～3表 備考 表記の修正と追記
4-2-2-6 耐震補強設計(配水池)における2次元静的非線形解析に係る補正	新設	・補正係数の追加
4-2-2-7 RC配水池3次元効果に係る補正	新設	・補正係数の追加
4-2-3 補正		
4-2-3-1 設計対象容量に係る補正	295	・表記の修正

項 目	令和6年度版 頁番号	内 容
第3節 浄水場土木施設 耐震診断（詳細診断）歩掛 4-3-1 適用範囲	296	・第1表 適用範囲の追記
4-3-2 基本歩掛		
4-3-2-1 耐震診断（詳細診断）	299	・第3-1表 備考 表記の修正と追記
	301	・第3-2表 備考 表記の修正と追記
4-3-2-5 共同溝(耐震診断)基本歩掛	302	・第7表 備考 表記の修正と追記
4-3-2-6 浄水場土木施設耐震診断(詳細診断)2次元静的非線形解析における補正	新設	・補正係数の追加
4-3-2-7 浄水場土木施設耐震診断(詳細診断)3次元効果における補正	新設	・補正係数の追加
4-3-3 補正		
4-3-3-1 設計対象水量に係る補正	303	・表記の修正
第4節 浄水場土木施設 耐震補強設計歩掛		
4-4-1 適用範囲	304	・第1表 適用範囲の追記
4-4-2-1 耐震補強工事の実施設計	307~308	・第3-1~2表 備考 表記の修正と追記
4-4-2-5 共同溝(耐震補強工事の実施設計)基本歩掛	309	・第7表 備考 表記の修正と追記
4-4-2-6 浄水場土木施設2次元静的非線形解析に係る補正	新設	・補正係数の追加
4-4-2-7 浄水場土木施設3次元効果に係る補正	新設	・補正係数の追加
4-4-3 補正		
4-4-3-1 設計対象水量に係る補正	310	・表記の修正

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																										
P6	1-2-1-5 注意事項 (1) (略) (2) 常設作業帯の設備が困難な地域での路上工事において、現場条件により資機材等の日々回送が発生することで作業時間に影響を及ぼすおそれがある場合の積算については、別途考慮すること。	1-2-1-5 注意事項 (1) (略) (2) 常設作業帯の <b>設置</b> が困難な地域での路上工事において、現場条件により資機材等の日々回送が発生することで作業時間に影響を及ぼすおそれがある場合の積算については、 <b>時間的制約を受ける工事とするなど別途考慮することができる。</b>																																																										
P28	1-2-2-3 現場管理費 (8) 現場管理費の計算 別表-2 現場管理費率標準値 <table border="1" data-bbox="350 625 1531 852"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額(N<sub>p</sub>) 適用区分</th> <th>1,000万円以下</th> <th colspan="2">1,000万円を超え20億円以下</th> <th>20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">A×N<sub>p</sub><sup>b</sup>により算定された率とする。 ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>工種区分</th> <th></th> <th>A</th> <th>b</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開削工事及び小口径推進工事等</td> <td>37.79%</td> <td>229.8</td> <td>-0.1120</td> <td>20.88%</td> </tr> <tr> <td>シールド工事及び推進工事</td> <td>34.56%</td> <td>56.6</td> <td>-0.0306</td> <td>29.39%</td> </tr> <tr> <td>構造物工事（浄水場等）</td> <td>32.44%</td> <td>52.7</td> <td>-0.0301</td> <td>27.66%</td> </tr> </tbody> </table>	対象額(N <sub>p</sub> ) 適用区分	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	下記の率とする	A×N <sub>p</sub> <sup>b</sup> により算定された率とする。 ただし、変数値は下記による		下記の率とする	工種区分		A	b		開削工事及び小口径推進工事等	37.79%	229.8	-0.1120	20.88%	シールド工事及び推進工事	34.56%	56.6	-0.0306	29.39%	構造物工事（浄水場等）	32.44%	52.7	-0.0301	27.66%	1-2-2-3 現場管理費 (8) 現場管理費の計算 別表-2 現場管理費率標準値 <table border="1" data-bbox="1561 625 2733 852"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額(N<sub>p</sub>) 適用区分</th> <th>1,000万円以下</th> <th colspan="2">1,000万円を超え20億円以下</th> <th>20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">A×N<sub>p</sub><sup>b</sup>により算定された率とする。 ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>工種区分</th> <th></th> <th>A</th> <th>b</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開削工事及び小口径推進工事等</td> <td><b>38.21%</b></td> <td><b>202.3</b></td> <td><b>-0.1034</b></td> <td><b>22.09%</b></td> </tr> <tr> <td>シールド工事及び推進工事</td> <td><b>34.99%</b></td> <td><b>49.0</b></td> <td><b>-0.0209</b></td> <td><b>31.32%</b></td> </tr> <tr> <td>構造物工事（浄水場等）</td> <td><b>32.72%</b></td> <td><b>46.8</b></td> <td><b>-0.0222</b></td> <td><b>29.09%</b></td> </tr> </tbody> </table>	対象額(N <sub>p</sub> ) 適用区分	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	下記の率とする	A×N <sub>p</sub> <sup>b</sup> により算定された率とする。 ただし、変数値は下記による		下記の率とする	工種区分		A	b		開削工事及び小口径推進工事等	<b>38.21%</b>	<b>202.3</b>	<b>-0.1034</b>	<b>22.09%</b>	シールド工事及び推進工事	<b>34.99%</b>	<b>49.0</b>	<b>-0.0209</b>	<b>31.32%</b>	構造物工事（浄水場等）	<b>32.72%</b>	<b>46.8</b>	<b>-0.0222</b>	<b>29.09%</b>
対象額(N <sub>p</sub> ) 適用区分	1,000万円以下		1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの																																																							
	下記の率とする	A×N <sub>p</sub> <sup>b</sup> により算定された率とする。 ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																								
工種区分		A	b																																																									
開削工事及び小口径推進工事等	37.79%	229.8	-0.1120	20.88%																																																								
シールド工事及び推進工事	34.56%	56.6	-0.0306	29.39%																																																								
構造物工事（浄水場等）	32.44%	52.7	-0.0301	27.66%																																																								
対象額(N <sub>p</sub> ) 適用区分	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの																																																								
	下記の率とする	A×N <sub>p</sub> <sup>b</sup> により算定された率とする。 ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																								
工種区分		A	b																																																									
開削工事及び小口径推進工事等	<b>38.21%</b>	<b>202.3</b>	<b>-0.1034</b>	<b>22.09%</b>																																																								
シールド工事及び推進工事	<b>34.99%</b>	<b>49.0</b>	<b>-0.0209</b>	<b>31.32%</b>																																																								
構造物工事（浄水場等）	<b>32.72%</b>	<b>46.8</b>	<b>-0.0222</b>	<b>29.09%</b>																																																								
P34	1-2-8 週休2日工事に要する費用の積算 (略)	1-2-8 週休2日の <b>取得</b> に要する費用の <b>計上</b> 週休2日の取得に要する費用の計上は、国土交通省不動産・建設経済局建設業課長より通達する「週休2日の推進に向けた適切な費用計上等について」による。																																																										
P35	1-2-9 週休2日交代制モデル工事に要する費用の積算 (略)	(削除)																																																										
P35	1-2-10 市場単価方式による週休2日取得に要する費用の計上に関する補正係数 (略)	(削除)																																																										
P36	1-2-11 時間的制約を受ける工事の積算 (略)	1-2-9 時間的制約を受ける工事の積算 (略)																																																										
P56	2-3-5 フランジ継手歩掛表 第5表 (表略) 備考 1. 本表は鋼管、鋳鉄管ともに適用する。 2. 鋼管の場合、JWWA7.5KはF12、JWWA10KはF15と読み替える。 3. 本表には、管の現場内小運搬及び据付けは含まない。 4. 諸雑費には、接合器具損料を含む。	2-3-5 フランジ継手歩掛表 第5表 (表略) 備考 1. 本表は鋼管、鋳鉄管ともに適用する。 2. 鋼管の場合、JWWA7.5KはF12、JWWA10KはF15と読み替える。 3. 本表には、管の現場内小運搬及び据付けは含まない。 4. 諸雑費には、接合器具損料を含む。 5. 口径1100mm以下のフランジ継手の接合時に、耐震型補強金具を同時に設置する場合、本歩掛に70%を割増することができる。なお、口径1100mmを超える口径については、別途考慮すること。 6. 口径1100mm以下の既設フランジ継手へ耐震型補強金具を設置する場合、本歩掛の70%を計上することができる。また、同時に既設フランジボルトを取り替える場合の既設管のボルト取替費は、下記の計算式にて算出することができる。 取替ボルト数(本)／本表のボルト数(本)×本歩掛																																																										

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和 6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																																																																																																																																																								
P86	<p>2-6-2 ポリエチレン管(融着接合)布設歩掛表 1) 歩掛 第2-1表</p> <table border="1" data-bbox="350 449 1439 835"> <thead> <tr> <th colspan="6">ポリエチレン管(融着接合(EF接合))布設工</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">据付工(10m当り)</th> <th colspan="2">継手工(1箇所当り)</th> <th rowspan="2">諸雑費</th> </tr> <tr> <th>配管工(人)</th> <th>普通作業員(人)</th> <th>配管工(人)</th> <th>普通作業員(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>20</td><td>0.07</td><td>0.12</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td rowspan="10">労務費の8.5%</td></tr> <tr><td>25</td><td>0.07</td><td>0.12</td><td>0.04</td><td>0.04</td></tr> <tr><td>30</td><td>0.08</td><td>0.14</td><td>0.06</td><td>0.06</td></tr> <tr><td>40</td><td>0.08</td><td>0.14</td><td>0.06</td><td>0.06</td></tr> <tr><td>50</td><td>0.10</td><td>0.18</td><td>0.08</td><td>0.08</td></tr> <tr><td>75</td><td>0.10</td><td>0.18</td><td>0.08</td><td>0.08</td></tr> <tr><td>100</td><td>0.12</td><td>0.20</td><td>0.12</td><td>0.12</td></tr> <tr><td>150</td><td>0.18</td><td>0.26</td><td>0.14</td><td>0.14</td></tr> <tr><td>200</td><td>0.25</td><td>0.49</td><td>0.14</td><td>0.14</td></tr> </tbody> </table> <p>2) 代価表 第2-2表 ポリエチレン管(融着接合)継手工 (1箇所当り)</p> <table border="1" data-bbox="350 982 1528 1157"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費(機械器具損料・消耗品)</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td>労務費の8.5%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ポリエチレン管(融着接合(EF接合))布設工						呼び径 (mm)	据付工(10m当り)		継手工(1箇所当り)		諸雑費	配管工(人)	普通作業員(人)	配管工(人)	普通作業員(人)	20	0.07	0.12	0.04	0.04	労務費の8.5%	25	0.07	0.12	0.04	0.04	30	0.08	0.14	0.06	0.06	40	0.08	0.14	0.06	0.06	50	0.10	0.18	0.08	0.08	75	0.10	0.18	0.08	0.08	100	0.12	0.20	0.12	0.12	150	0.18	0.26	0.14	0.14	200	0.25	0.49	0.14	0.14	名称	形状寸法	単位	数量	金額	摘要	配管工		人				普通作業員		人				諸雑費(機械器具損料・消耗品)		式	1		労務費の8.5%	計						<p>2-6-2 ポリエチレン管(融着接合)布設歩掛表 1) 歩掛 第2-1表</p> <table border="1" data-bbox="1561 449 2650 835"> <thead> <tr> <th colspan="6">ポリエチレン管(融着接合(EF接合))布設工</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">据付工(10m当り)</th> <th colspan="2">継手工(1箇所当り)</th> <th rowspan="2">諸雑費</th> </tr> <tr> <th>配管工(人)</th> <th>普通作業員(人)</th> <th>配管工(人)</th> <th>普通作業員(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>20</td><td>0.07</td><td>0.12</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td rowspan="10">労務費の14.0%</td></tr> <tr><td>25</td><td>0.07</td><td>0.12</td><td>0.04</td><td>0.04</td></tr> <tr><td>30</td><td>0.08</td><td>0.14</td><td>0.06</td><td>0.06</td></tr> <tr><td>40</td><td>0.08</td><td>0.14</td><td>0.06</td><td>0.06</td></tr> <tr><td>50</td><td>0.10</td><td>0.18</td><td>0.08</td><td>0.08</td></tr> <tr><td>75</td><td>0.10</td><td>0.18</td><td>0.08</td><td>0.08</td></tr> <tr><td>100</td><td>0.12</td><td>0.20</td><td>0.12</td><td>0.12</td></tr> <tr><td>150</td><td>0.18</td><td>0.26</td><td>0.14</td><td>0.14</td></tr> <tr><td>200</td><td>0.25</td><td>0.49</td><td>0.14</td><td>0.14</td></tr> </tbody> </table> <p>2) 代価表 第2-2表 ポリエチレン管(融着接合)継手工 (1箇所当り)</p> <table border="1" data-bbox="1561 982 2739 1157"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費(機械器具損料・消耗品)</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td>労務費の14.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ポリエチレン管(融着接合(EF接合))布設工						呼び径 (mm)	据付工(10m当り)		継手工(1箇所当り)		諸雑費	配管工(人)	普通作業員(人)	配管工(人)	普通作業員(人)	20	0.07	0.12	0.04	0.04	労務費の14.0%	25	0.07	0.12	0.04	0.04	30	0.08	0.14	0.06	0.06	40	0.08	0.14	0.06	0.06	50	0.10	0.18	0.08	0.08	75	0.10	0.18	0.08	0.08	100	0.12	0.20	0.12	0.12	150	0.18	0.26	0.14	0.14	200	0.25	0.49	0.14	0.14	名称	形状寸法	単位	数量	金額	摘要	配管工		人				普通作業員		人				諸雑費(機械器具損料・消耗品)		式	1		労務費の14.0%	計					
ポリエチレン管(融着接合(EF接合))布設工																																																																																																																																																																																										
呼び径 (mm)	据付工(10m当り)		継手工(1箇所当り)		諸雑費																																																																																																																																																																																					
	配管工(人)	普通作業員(人)	配管工(人)	普通作業員(人)																																																																																																																																																																																						
20	0.07	0.12	0.04	0.04	労務費の8.5%																																																																																																																																																																																					
25	0.07	0.12	0.04	0.04																																																																																																																																																																																						
30	0.08	0.14	0.06	0.06																																																																																																																																																																																						
40	0.08	0.14	0.06	0.06																																																																																																																																																																																						
50	0.10	0.18	0.08	0.08																																																																																																																																																																																						
75	0.10	0.18	0.08	0.08																																																																																																																																																																																						
100	0.12	0.20	0.12	0.12																																																																																																																																																																																						
150	0.18	0.26	0.14	0.14																																																																																																																																																																																						
200	0.25	0.49	0.14	0.14																																																																																																																																																																																						
名称	形状寸法	単位	数量	金額		摘要																																																																																																																																																																																				
配管工		人																																																																																																																																																																																								
普通作業員		人																																																																																																																																																																																								
諸雑費(機械器具損料・消耗品)		式	1		労務費の8.5%																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																										
ポリエチレン管(融着接合(EF接合))布設工																																																																																																																																																																																										
呼び径 (mm)	据付工(10m当り)		継手工(1箇所当り)		諸雑費																																																																																																																																																																																					
	配管工(人)	普通作業員(人)	配管工(人)	普通作業員(人)																																																																																																																																																																																						
20	0.07	0.12	0.04	0.04	労務費の14.0%																																																																																																																																																																																					
25	0.07	0.12	0.04	0.04																																																																																																																																																																																						
30	0.08	0.14	0.06	0.06																																																																																																																																																																																						
40	0.08	0.14	0.06	0.06																																																																																																																																																																																						
50	0.10	0.18	0.08	0.08																																																																																																																																																																																						
75	0.10	0.18	0.08	0.08																																																																																																																																																																																						
100	0.12	0.20	0.12	0.12																																																																																																																																																																																						
150	0.18	0.26	0.14	0.14																																																																																																																																																																																						
200	0.25	0.49	0.14	0.14																																																																																																																																																																																						
名称	形状寸法	単位	数量	金額		摘要																																																																																																																																																																																				
配管工		人																																																																																																																																																																																								
普通作業員		人																																																																																																																																																																																								
諸雑費(機械器具損料・消耗品)		式	1		労務費の14.0%																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																										
P152	<p>5-3-4-2 鋼管 3. 管据付費 管据付けは、管を心出し仮付けし、仮接合するまでの作業であり、裏当金スペーサの取付も含まれる。 (1) 使用機械、消耗品類 第31表</p> <table border="1" data-bbox="350 1329 1374 1402"> <thead> <tr> <th>呼び径(mm)</th> <th>チェーンブロック</th> <th>レバーブロック</th> <th>溶接機</th> <th>ゴムスペーサ</th> <th>溶接棒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>800~1800</td> <td>3t</td> <td>3t</td> <td>300A</td> <td>4個</td> <td>5kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 溶接機は、仮付け、裏当て金等の仮溶接に使用し、1台とする。 基本電力料は、13kVA×0.7×2時間=18.2kW/日 2. チェーンブロック、レバーブロックは各1台とする。</p>	呼び径(mm)	チェーンブロック	レバーブロック	溶接機	ゴムスペーサ	溶接棒	800~1800	3t	3t	300A	4個	5kg	<p>5-3-4-2 鋼管 3. 管据付費 管据付けは、管を心出し仮付けし、仮接合するまでの作業であり、裏当金スペーサの取付も含まれる。 (1) 使用機械、消耗品類 第31表</p> <table border="1" data-bbox="1561 1329 2412 1402"> <thead> <tr> <th>呼び径(mm)</th> <th>チェーンブロック</th> <th>レバーブロック</th> <th>溶接機</th> <th>溶接棒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>800~1800</td> <td>3t</td> <td>3t</td> <td>300A</td> <td>5kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 溶接機は、仮付け、裏当て金等の仮溶接に使用し、1台とする。 基本電力料は、13kVA×0.7×2時間=18.2kW/日 2. チェーンブロック、レバーブロックは各1台とする。</p>	呼び径(mm)	チェーンブロック	レバーブロック	溶接機	溶接棒	800~1800	3t	3t	300A	5kg																																																																																																																																																																		
呼び径(mm)	チェーンブロック	レバーブロック	溶接機	ゴムスペーサ	溶接棒																																																																																																																																																																																					
800~1800	3t	3t	300A	4個	5kg																																																																																																																																																																																					
呼び径(mm)	チェーンブロック	レバーブロック	溶接機	溶接棒																																																																																																																																																																																						
800~1800	3t	3t	300A	5kg																																																																																																																																																																																						

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和 6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																																																																																																																																	
P153	5-3-4-2 鋼管 3. 管据付費 (4) 歩掛表 第34表 管据付 <p style="text-align: right;">(1m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>名称</th> <th>形状</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5</td> <td></td> <td>第32表</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.0</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>チェーンブロック</td> <td>3t</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td>第31表</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>レバーブロック</td> <td>3t</td> <td>〃</td> <td>1.0</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>溶接機損料</td> <td>300A</td> <td>〃</td> <td>1.0</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>溶接棒</td> <td></td> <td>kg</td> <td>5.0</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>電力料</td> <td></td> <td>kW</td> <td>18.2</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>ゴムスペーサー</td> <td></td> <td>個</td> <td>4.0</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1日当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m</td> <td>当り</td> <td>計/標準作業量</td> <td>第33-1、33-2表</td> </tr> </tbody> </table>	番号	名称	形状	単位	数量	金額	摘要	①	世話役		人	0.5		第32表	②	溶接工		〃	2.0		〃	③	特殊作業員		〃	4.0		〃	④	チェーンブロック	3t	日	1.0		第31表	⑤	レバーブロック	3t	〃	1.0		〃	⑥	溶接機損料	300A	〃	1.0		〃	⑦	溶接棒		kg	5.0		〃	⑧	電力料		kW	18.2		〃	⑨	ゴムスペーサー		個	4.0		〃		計					1日当り				m	当り	計/標準作業量	第33-1、33-2表	5-3-4-2 鋼管 3. 管据付費 (4) 歩掛表 第34表 管据付 <p style="text-align: right;">(1m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>名称</th> <th>形状</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5</td> <td></td> <td>第32表</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.0</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>チェーンブロック</td> <td>3t</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td>第31表</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>レバーブロック</td> <td>3t</td> <td>〃</td> <td>1.0</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>溶接機損料</td> <td>300A</td> <td>〃</td> <td>1.0</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>溶接棒</td> <td></td> <td>kg</td> <td>5.0</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>電力料</td> <td></td> <td>kW</td> <td>18.2</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1日当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m</td> <td>当り</td> <td>計/標準作業量</td> <td>第33-1、33-2表</td> </tr> </tbody> </table>	番号	名称	形状	単位	数量	金額	摘要	①	世話役		人	0.5		第32表	②	溶接工		〃	2.0		〃	③	特殊作業員		〃	4.0		〃	④	チェーンブロック	3t	日	1.0		第31表	⑤	レバーブロック	3t	〃	1.0		〃	⑥	溶接機損料	300A	〃	1.0		〃	⑦	溶接棒		kg	5.0		〃	⑧	電力料		kW	18.2		〃		計					1日当り				m	当り	計/標準作業量	第33-1、33-2表
番号	名称	形状	単位	数量	金額	摘要																																																																																																																																																													
①	世話役		人	0.5		第32表																																																																																																																																																													
②	溶接工		〃	2.0		〃																																																																																																																																																													
③	特殊作業員		〃	4.0		〃																																																																																																																																																													
④	チェーンブロック	3t	日	1.0		第31表																																																																																																																																																													
⑤	レバーブロック	3t	〃	1.0		〃																																																																																																																																																													
⑥	溶接機損料	300A	〃	1.0		〃																																																																																																																																																													
⑦	溶接棒		kg	5.0		〃																																																																																																																																																													
⑧	電力料		kW	18.2		〃																																																																																																																																																													
⑨	ゴムスペーサー		個	4.0		〃																																																																																																																																																													
	計					1日当り																																																																																																																																																													
			m	当り	計/標準作業量	第33-1、33-2表																																																																																																																																																													
番号	名称	形状	単位	数量	金額	摘要																																																																																																																																																													
①	世話役		人	0.5		第32表																																																																																																																																																													
②	溶接工		〃	2.0		〃																																																																																																																																																													
③	特殊作業員		〃	4.0		〃																																																																																																																																																													
④	チェーンブロック	3t	日	1.0		第31表																																																																																																																																																													
⑤	レバーブロック	3t	〃	1.0		〃																																																																																																																																																													
⑥	溶接機損料	300A	〃	1.0		〃																																																																																																																																																													
⑦	溶接棒		kg	5.0		〃																																																																																																																																																													
⑧	電力料		kW	18.2		〃																																																																																																																																																													
	計					1日当り																																																																																																																																																													
			m	当り	計/標準作業量	第33-1、33-2表																																																																																																																																																													
P153	<新規>	5-3-4-2 鋼管 3. 管据付費 (5) 使用材料 第35表 <p style="text-align: center;">(直管1本当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>スペーサー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">材料</td> <td>800</td> <td>6個</td> </tr> <tr> <td>900~1000</td> <td>7個</td> </tr> <tr> <td>1100~1200</td> <td>8個</td> </tr> <tr> <td>1300~1500</td> <td>9個</td> </tr> <tr> <td>1600~1650</td> <td>10個</td> </tr> <tr> <td>1800</td> <td>11個</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考1. 本表の適用は、直管を据付する場合の1本当たりの標準箇所とし、別途現場状況に応じて箇所数を考慮できるものとする。                      2. 普通鋼管、巻込鋼管共通とする。                      3. スペーサーの材質はゴム製等とする。</p> <p>第36表                      (短管・異形管1本当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>スペーサー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>800~1000</td> <td>7個</td> </tr> <tr> <td>1100~1300</td> <td>8個</td> </tr> <tr> <td>1350~1600</td> <td>9個</td> </tr> <tr> <td>1650~1800</td> <td>10個</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考1. 本表の適用は、短管(3m以下)、異形管を据付する場合の1本当たりの標準箇所とし、別途現場状況に応じて箇所数を考慮できるものとする。                      2. 普通鋼管、巻込鋼管共通とする。                      3. スペーサーの材質はゴム製等とする。</p>	区分	呼び径(mm)	スペーサー	材料	800	6個	900~1000	7個	1100~1200	8個	1300~1500	9個	1600~1650	10個	1800	11個	区分	呼び径(mm)	スペーサー	材料	800~1000	7個	1100~1300	8個	1350~1600	9個	1650~1800	10個																																																																																																																																					
区分	呼び径(mm)	スペーサー																																																																																																																																																																	
材料	800	6個																																																																																																																																																																	
	900~1000	7個																																																																																																																																																																	
	1100~1200	8個																																																																																																																																																																	
	1300~1500	9個																																																																																																																																																																	
	1600~1650	10個																																																																																																																																																																	
	1800	11個																																																																																																																																																																	
区分	呼び径(mm)	スペーサー																																																																																																																																																																	
材料	800~1000	7個																																																																																																																																																																	
	1100~1300	8個																																																																																																																																																																	
	1350~1600	9個																																																																																																																																																																	
	1650~1800	10個																																																																																																																																																																	

## 令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和 6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）
P229	<p>3-1-1 適用範囲</p> <p>この積算歩掛は原則として送・配水施設のうち標準的な配水池・調整池に係る実施設計を業務委託する場合に適用するものとし、既存の設計図書が流用できる等特殊事情がある場合には、その項目について減ずることとする。また次に示す配水池の設計業務については別途設計委託料を算出する。</p> <p>(ア) 配水池施設が他の施設(公民館等)と一体となる複合施設 (イ) 既設配水池の改造 (ウ) 取付道路及び造成 (エ) 自家発電機設備、塩素注入設備及びそれらの建築施設 (オ) 制御設備の中央改造(配水池側を子局とした場合)を含む場合 (カ) 事業計画(認可設計)に係る業務 (キ) 関連配水系統の全体管網解析 (ク) 連続地中壁本体利用、短形-卵形 PC 構造等特殊な構造及び形状の異なる配水池の設計に係る業務 (ケ) その他、第3表に定められていない施設 (コ) 開発行為諸手続</p> <p>配水池実施設計基本歩掛は、基本設計と詳細設計に分かれる。 基本設計については事業計画(認可設計)に定められた基本諸元(容量、水位、位置等)に基づいて、第1表の内容の基本設計を行う。 詳細設計については基本設計に基づき、詳細な構造、配管、仮設、施工の設計計画等第4表、第6表または第8表の内容で具体的な詳細設計を行う。</p>	<p>3-1-1 適用範囲</p> <p>この積算歩掛は原則として送・配水施設のうち標準的な配水池・調整池に係る実施設計を業務委託する場合に適用するものとし、既存の設計図書が流用できる等特殊事情がある場合には、その項目について減ずることとする。また次に示す配水池の設計業務については別途設計委託料を算出する。</p> <p>(ア) 配水池施設が他の施設(公民館等)と一体となる複合施設 (イ) 既設配水池の改造 (ウ) 取付道路及び造成 (エ) 自家発電機設備、塩素注入設備及びそれらの建築施設 (オ) 制御設備の中央改造(配水池側を子局とした場合)を含む場合 (カ) 事業計画(認可設計)に係る業務 (キ) 関連配水系統の全体管網解析 (ク) 連続地中壁本体利用、短形-卵形 PC 構造等特殊な構造及び形状の異なる配水池の設計に係る業務 (ケ) その他、第3表に定められていない施設 (コ) 開発行為諸手続 <b>(サ) 水道施設の危機耐性に係る検討</b> <b>(シ) 浄水施設を階層化した施設または水道施設耐震工法指針・解説 2022 年版に示す水槽付建築物</b></p> <p>配水池実施設計基本歩掛は、基本設計と詳細設計に分かれる。 基本設計については事業計画(認可設計)に定められた基本諸元(容量、水位、位置等)に基づいて、第1表の内容の基本設計を行う。 詳細設計については基本設計に基づき、詳細な構造、配管、仮設、施工の設計計画等第4表、第6表または第8表の内容で具体的な詳細設計を行う。</p>
P230	<p>3-1-2-2 実施設計(詳細設計)</p> <p>(チ) 動的解析あるいは FEM による安定解析</p>	<p>3-1-2-2 実施設計(詳細設計)</p> <p>(チ) <b>高度な解析手法のうち3次元静的解析、動的解析、FEM 解析等</b></p>
P231	<p>第4表 RC 配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説 2009 年版方法 2～4 によるものとし、方法 1 による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 4. レベル2対応を必要としない場合、各作業項目の計算(構造)の値に 40% を乗じ、小数点以下 2 桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第4表 RC 配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説 <b>2022 年版方法 4</b> によるものとする。 3. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説 2022 年版方法 2～3 によるものとし、配水池・調整池の計算(構造)及び土木設計の審査に第12表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法 1 による場合は、別途計上する。</b> 4. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 5. レベル2地震動での解析を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に 40% を乗じ、小数点以下 2 桁目を四捨五入した値を用いる。 6. <b>土木設計の計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第13表の補正係数を乗じ、小数点以下 2 桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b></p>

## 令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）
P232	<p>第5表 RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。 解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 4. レベル2対応を必要としない場合、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第5表 RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022</b>年版方法<b>4</b>によるものとする。 3. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、配水池・調整池の計算(構造)及び審査に第12表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b> 4. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 5. レベル2<b>地震動での解析を必要としない</b>場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。 6. <b>土木設計の計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第13表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b></p>
P233	<p>第6表 PC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 4. レベル2対応を必要としない場合、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第6表 PC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022</b>年版方法<b>4</b>によるものとする。<b>ただし、他の解析手法による場合は、別途計上する。</b> 3. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 4. レベル2<b>地震動での解析を必要としない</b>場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>
P234	<p>第7表 PC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 4. レベル2対応を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第7表 PC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の<b>土木設計における</b>計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022</b>年版方法<b>4</b>によるものとする。<b>ただし、他の解析手法による場合は、別途計上する。</b> 3. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 4. レベル2<b>地震動での解析を必要としない</b>場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>
P235	<p>第8表 鋼製配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 4. レベル2対応を必要としない場合、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第8表 鋼製配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022</b>年版方法<b>4</b>によるものとする。<b>ただし、他の解析手法による場合は、別途計上する。</b> 3. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 4. レベル2<b>地震動での解析を必要としない</b>場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>



令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																								
P236	<p>第9表 鋼製配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。                  2. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。                  3. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。                  4. レベル2対応を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第9表 鋼製配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。                  2. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022</b>年版方法<b>4</b>によるものとする。<b>ただし、他の解析手法による場合は、別途計上する。</b>                  3. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。                  4. レベル2<b>地震動での解析</b>を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>																																																								
P237	<p>&lt;新規&gt;</p>	<p>3-1-2-5 配水池設計における2次元静的非線形解析に係る補正                  第12表 2次元静的非線形解析に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1561 709 1991 814"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計算(構造)</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>審査</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) RC配水池容量2,000m<sup>3</sup>の2次元非線形解析における積算                  条件：掘削深度に係る補正、地盤に係る補正なし</p> <p>計算(構造)及び審査の積算(例) 第5表(土木設計 配水池・調整池)より算定 (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1561 961 2718 1073"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">積算(例)</td> <td>計算(構造)</td> <td></td> <td>3.4</td> <td>6.9</td> <td>12.2</td> <td>11.0</td> <td>6.2</td> <td>39.7</td> <td>基本歩掛人工×1.8×1.33</td> </tr> <tr> <td>審査</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> <td>基本歩掛人工×1.2×1.33</td> </tr> </tbody> </table> <p>算定人工=基本歩掛人工×2次元静的線形解析に対する比率×容量補正</p> <p>3-1-2-6 配水池設計における3次元効果に係る補正                  第13表 3次元効果に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1561 1213 1991 1287"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元効果</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) RC配水池容量2,000m<sup>3</sup>の3次元効果における積算                  条件：掘削深度に係る補正、地盤に係る補正なし</p> <p>3次元効果の積算(例) 第5表(土木設計 配水池・調整池)より算定 (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1561 1434 2718 1545"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">積算(例)</td> <td>計算(構造)へ追加</td> <td></td> <td>1.1</td> <td>2.3</td> <td>4.1</td> <td>3.7</td> <td>2.1</td> <td>13.3</td> <td>基本歩掛人工×0.6×1.33</td> </tr> </tbody> </table> <p>算定人工=基本歩掛人工×2次元静的線形解析に対する比率×容量補正</p>	作業項目	補正係数	計算(構造)	1.8	審査	1.2	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考	積算(例)	計算(構造)		3.4	6.9	12.2	11.0	6.2	39.7	基本歩掛人工×1.8×1.33	審査	0.6	0.8				1.4	基本歩掛人工×1.2×1.33	作業項目	補正係数	3次元効果	0.6	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考	積算(例)	計算(構造)へ追加		1.1	2.3	4.1	3.7	2.1	13.3	基本歩掛人工×0.6×1.33
作業項目	補正係数																																																									
計算(構造)	1.8																																																									
審査	1.2																																																									
作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考																																																		
積算(例)	計算(構造)		3.4	6.9	12.2	11.0	6.2	39.7	基本歩掛人工×1.8×1.33																																																	
	審査	0.6	0.8				1.4	基本歩掛人工×1.2×1.33																																																		
作業項目	補正係数																																																									
3次元効果	0.6																																																									
作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考																																																		
積算(例)	計算(構造)へ追加		1.1	2.3	4.1	3.7	2.1	13.3	基本歩掛人工×0.6×1.33																																																	

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和 6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
P237	<p>3-1-3 補正 総補正率は3-1-3-1～3-1-3-4の各補正係数を乗ずるものとする。</p> <p>3-1-3-1 設計対象容量に係る補正 1) 基本設計 実施設計(基本設計)設計対象容量に係る補正は第1表の各基本歩掛のすべての項目(ただし、設計協議及び現地調査を除く。)について、第12表の補正係数を適用する。</p> <p>第12表 設計対象容量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="350 562 1522 1192"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配水池 有効容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="3">補正係数</th> <th rowspan="2">配水池 有効容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="3">補正係数</th> </tr> <tr> <th>RC造または 構造未決定 の場合</th> <th>PC造</th> <th>鋼製</th> <th>RC造または 構造未決定 の場合</th> <th>PC造</th> <th>鋼製</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50 以下</td><td>0.29</td><td>0.34</td><td>0.34</td><td>6,001 ～ 7,000 迄</td><td>2.27</td><td>1.76</td><td>1.57</td></tr> <tr><td>51 ～ 100 迄</td><td>0.38</td><td>0.43</td><td>0.43</td><td>7,001 ～ 8,000 "</td><td>2.41</td><td>1.84</td><td>1.63</td></tr> <tr><td>101 ～ 200 "</td><td>0.51</td><td>0.51</td><td>0.51</td><td>8,001 ～ 9,000 "</td><td>2.52</td><td>1.92</td><td>1.69</td></tr> <tr><td>201 ～ 300 "</td><td>0.60</td><td>0.58</td><td>0.58</td><td>9,001 ～ 10,000 "</td><td>2.65</td><td>2.00</td><td>1.75</td></tr> <tr><td>301 ～ 400 "</td><td>0.68</td><td>0.64</td><td>0.64</td><td>10,001 ～ 12,000 "</td><td>2.86</td><td>2.13</td><td>1.85</td></tr> <tr><td>401 ～ 500 "</td><td>0.75</td><td>0.70</td><td>0.70</td><td>12,001 ～ 14,000 "</td><td>3.05</td><td>2.24</td><td>1.93</td></tr> <tr><td>501 ～ 600 "</td><td>0.81</td><td>0.75</td><td>0.75</td><td>14,001 ～ 16,000 "</td><td>3.22</td><td>2.35</td><td>2.02</td></tr> <tr><td>601 ～ 700 "</td><td>0.86</td><td>0.79</td><td>0.79</td><td>16,001 ～ 18,000 "</td><td>3.38</td><td>2.44</td><td>2.09</td></tr> <tr><td>701 ～ 800 "</td><td>0.90</td><td>0.83</td><td>0.82</td><td>18,001 ～ 20,000 "</td><td>3.56</td><td>2.54</td><td>2.16</td></tr> <tr><td>801 ～ 900 "</td><td>0.95</td><td>0.86</td><td>0.85</td><td>20,001 ～ 22,000 "</td><td>3.70</td><td>2.63</td><td>2.22</td></tr> <tr><td>901 ～ 1,000 "</td><td>1.00</td><td>0.89</td><td>0.87</td><td>22,001 ～ 24,000 "</td><td>3.84</td><td>2.71</td><td>2.29</td></tr> <tr><td>1,001 ～ 1,500 "</td><td>1.19</td><td>1.03</td><td>0.99</td><td>24,001 ～ 26,000 "</td><td>3.96</td><td>2.78</td><td>2.34</td></tr> <tr><td>1,501 ～ 2,000 "</td><td>1.33</td><td>1.14</td><td>1.08</td><td>26,001 ～ 28,000 "</td><td>4.09</td><td>2.86</td><td>2.40</td></tr> <tr><td>2,001 ～ 2,500 "</td><td>1.48</td><td>1.22</td><td>1.14</td><td>28,001 ～ 30,000 "</td><td>4.22</td><td>2.92</td><td>2.44</td></tr> <tr><td>2,501 ～ 3,000 "</td><td>1.59</td><td>1.30</td><td>1.21</td><td>30,001 ～ 35,000 "</td><td>4.48</td><td>3.08</td><td>2.56</td></tr> <tr><td>3,001 ～ 4,000 "</td><td>1.79</td><td>1.44</td><td>1.32</td><td>35,001 ～ 40,000 "</td><td>4.74</td><td>3.23</td><td>2.67</td></tr> <tr><td>4,001 ～ 5,000 "</td><td>1.96</td><td>1.57</td><td>1.42</td><td>40,001 ～ 45,000 "</td><td>4.98</td><td>3.36</td><td>2.76</td></tr> <tr><td>5,001 ～ 6,000 "</td><td>2.13</td><td>1.67</td><td>1.49</td><td>45,001 ～ 50,000 "</td><td>5.21</td><td>3.49</td><td>2.86</td></tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 将来の増設計画を含めた基本設計については、増設計画の容量も加えた設計対象容量の補正係数とする。 2. 配水池有効容量が50,000m<sup>3</sup>を超える場合は、別途考慮する。</p>	配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数			配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数			RC造または 構造未決定 の場合	PC造	鋼製	RC造または 構造未決定 の場合	PC造	鋼製	50 以下	0.29	0.34	0.34	6,001 ～ 7,000 迄	2.27	1.76	1.57	51 ～ 100 迄	0.38	0.43	0.43	7,001 ～ 8,000 "	2.41	1.84	1.63	101 ～ 200 "	0.51	0.51	0.51	8,001 ～ 9,000 "	2.52	1.92	1.69	201 ～ 300 "	0.60	0.58	0.58	9,001 ～ 10,000 "	2.65	2.00	1.75	301 ～ 400 "	0.68	0.64	0.64	10,001 ～ 12,000 "	2.86	2.13	1.85	401 ～ 500 "	0.75	0.70	0.70	12,001 ～ 14,000 "	3.05	2.24	1.93	501 ～ 600 "	0.81	0.75	0.75	14,001 ～ 16,000 "	3.22	2.35	2.02	601 ～ 700 "	0.86	0.79	0.79	16,001 ～ 18,000 "	3.38	2.44	2.09	701 ～ 800 "	0.90	0.83	0.82	18,001 ～ 20,000 "	3.56	2.54	2.16	801 ～ 900 "	0.95	0.86	0.85	20,001 ～ 22,000 "	3.70	2.63	2.22	901 ～ 1,000 "	1.00	0.89	0.87	22,001 ～ 24,000 "	3.84	2.71	2.29	1,001 ～ 1,500 "	1.19	1.03	0.99	24,001 ～ 26,000 "	3.96	2.78	2.34	1,501 ～ 2,000 "	1.33	1.14	1.08	26,001 ～ 28,000 "	4.09	2.86	2.40	2,001 ～ 2,500 "	1.48	1.22	1.14	28,001 ～ 30,000 "	4.22	2.92	2.44	2,501 ～ 3,000 "	1.59	1.30	1.21	30,001 ～ 35,000 "	4.48	3.08	2.56	3,001 ～ 4,000 "	1.79	1.44	1.32	35,001 ～ 40,000 "	4.74	3.23	2.67	4,001 ～ 5,000 "	1.96	1.57	1.42	40,001 ～ 45,000 "	4.98	3.36	2.76	5,001 ～ 6,000 "	2.13	1.67	1.49	45,001 ～ 50,000 "	5.21	3.49	2.86	<p>3-1-3 補正 総補正率は3-1-3-1～3-1-3-4の各補正係数を乗ずるものとする。</p> <p>3-1-3-1 設計対象容量に係る補正 1) 基本設計 実施設計(基本設計)設計対象容量に係る補正は第1表の各基本歩掛のすべての項目(ただし、設計協議及び現地調査を除く。)について、第14表の補正係数を適用する。</p> <p>第14表 設計対象容量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1561 562 2733 1192"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配水池 有効容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="3">補正係数</th> <th rowspan="2">配水池 有効容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="3">補正係数</th> </tr> <tr> <th>RC造または 構造未決定 の場合</th> <th>PC造</th> <th>鋼製</th> <th>RC造または 構造未決定 の場合</th> <th>PC造</th> <th>鋼製</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50 以下</td><td>0.29</td><td>0.34</td><td>0.34</td><td>6,001 ～ 7,000 迄</td><td>2.27</td><td>1.76</td><td>1.57</td></tr> <tr><td>51 ～ 100 迄</td><td>0.38</td><td>0.43</td><td>0.43</td><td>7,001 ～ 8,000 "</td><td>2.41</td><td>1.84</td><td>1.63</td></tr> <tr><td>101 ～ 200 "</td><td>0.51</td><td>0.51</td><td>0.51</td><td>8,001 ～ 9,000 "</td><td>2.52</td><td>1.92</td><td>1.69</td></tr> <tr><td>201 ～ 300 "</td><td>0.60</td><td>0.58</td><td>0.58</td><td>9,001 ～ 10,000 "</td><td>2.65</td><td>2.00</td><td>1.75</td></tr> <tr><td>301 ～ 400 "</td><td>0.68</td><td>0.64</td><td>0.64</td><td>10,001 ～ 12,000 "</td><td>2.86</td><td>2.13</td><td>1.85</td></tr> <tr><td>401 ～ 500 "</td><td>0.75</td><td>0.70</td><td>0.70</td><td>12,001 ～ 14,000 "</td><td>3.05</td><td>2.24</td><td>1.93</td></tr> <tr><td>501 ～ 600 "</td><td>0.81</td><td>0.75</td><td>0.75</td><td>14,001 ～ 16,000 "</td><td>3.22</td><td>2.35</td><td>2.02</td></tr> <tr><td>601 ～ 700 "</td><td>0.86</td><td>0.79</td><td>0.79</td><td>16,001 ～ 18,000 "</td><td>3.38</td><td>2.44</td><td>2.09</td></tr> <tr><td>701 ～ 800 "</td><td>0.90</td><td>0.83</td><td>0.82</td><td>18,001 ～ 20,000 "</td><td>3.56</td><td>2.54</td><td>2.16</td></tr> <tr><td>801 ～ 900 "</td><td>0.95</td><td>0.86</td><td>0.85</td><td>20,001 ～ 22,000 "</td><td>3.70</td><td>2.63</td><td>2.22</td></tr> <tr><td>901 ～ 1,000 "</td><td>1.00</td><td>0.89</td><td>0.87</td><td>22,001 ～ 24,000 "</td><td>3.84</td><td>2.71</td><td>2.29</td></tr> <tr><td>1,001 ～ 1,500 "</td><td>1.19</td><td>1.03</td><td>0.99</td><td>24,001 ～ 26,000 "</td><td>3.96</td><td>2.78</td><td>2.34</td></tr> <tr><td>1,501 ～ 2,000 "</td><td>1.33</td><td>1.14</td><td>1.08</td><td>26,001 ～ 28,000 "</td><td>4.09</td><td>2.86</td><td>2.40</td></tr> <tr><td>2,001 ～ 2,500 "</td><td>1.48</td><td>1.22</td><td>1.14</td><td>28,001 ～ 30,000 "</td><td>4.22</td><td>2.92</td><td>2.44</td></tr> <tr><td>2,501 ～ 3,000 "</td><td>1.59</td><td>1.30</td><td>1.21</td><td>30,001 ～ 35,000 "</td><td>4.48</td><td>3.08</td><td>2.56</td></tr> <tr><td>3,001 ～ 4,000 "</td><td>1.79</td><td>1.44</td><td>1.32</td><td>35,001 ～ 40,000 "</td><td>4.74</td><td>3.23</td><td>2.67</td></tr> <tr><td>4,001 ～ 5,000 "</td><td>1.96</td><td>1.57</td><td>1.42</td><td>40,001 ～ 45,000 "</td><td>4.98</td><td>3.36</td><td>2.76</td></tr> <tr><td>5,001 ～ 6,000 "</td><td>2.13</td><td>1.67</td><td>1.49</td><td>45,001 ～ 50,000 "</td><td>5.21</td><td>3.49</td><td>2.86</td></tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 将来の増設計画を含めた基本設計については、増設計画の容量も加えた設計対象容量の補正係数とする。 2. 配水池有効容量が50,000m<sup>3</sup>を超える場合は、別途考慮する。</p>	配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数			配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数			RC造または 構造未決定 の場合	PC造	鋼製	RC造または 構造未決定 の場合	PC造	鋼製	50 以下	0.29	0.34	0.34	6,001 ～ 7,000 迄	2.27	1.76	1.57	51 ～ 100 迄	0.38	0.43	0.43	7,001 ～ 8,000 "	2.41	1.84	1.63	101 ～ 200 "	0.51	0.51	0.51	8,001 ～ 9,000 "	2.52	1.92	1.69	201 ～ 300 "	0.60	0.58	0.58	9,001 ～ 10,000 "	2.65	2.00	1.75	301 ～ 400 "	0.68	0.64	0.64	10,001 ～ 12,000 "	2.86	2.13	1.85	401 ～ 500 "	0.75	0.70	0.70	12,001 ～ 14,000 "	3.05	2.24	1.93	501 ～ 600 "	0.81	0.75	0.75	14,001 ～ 16,000 "	3.22	2.35	2.02	601 ～ 700 "	0.86	0.79	0.79	16,001 ～ 18,000 "	3.38	2.44	2.09	701 ～ 800 "	0.90	0.83	0.82	18,001 ～ 20,000 "	3.56	2.54	2.16	801 ～ 900 "	0.95	0.86	0.85	20,001 ～ 22,000 "	3.70	2.63	2.22	901 ～ 1,000 "	1.00	0.89	0.87	22,001 ～ 24,000 "	3.84	2.71	2.29	1,001 ～ 1,500 "	1.19	1.03	0.99	24,001 ～ 26,000 "	3.96	2.78	2.34	1,501 ～ 2,000 "	1.33	1.14	1.08	26,001 ～ 28,000 "	4.09	2.86	2.40	2,001 ～ 2,500 "	1.48	1.22	1.14	28,001 ～ 30,000 "	4.22	2.92	2.44	2,501 ～ 3,000 "	1.59	1.30	1.21	30,001 ～ 35,000 "	4.48	3.08	2.56	3,001 ～ 4,000 "	1.79	1.44	1.32	35,001 ～ 40,000 "	4.74	3.23	2.67	4,001 ～ 5,000 "	1.96	1.57	1.42	40,001 ～ 45,000 "	4.98	3.36	2.76	5,001 ～ 6,000 "	2.13	1.67	1.49	45,001 ～ 50,000 "	5.21	3.49	2.86
配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数			配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RC造または 構造未決定 の場合	PC造	鋼製		RC造または 構造未決定 の場合	PC造	鋼製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
50 以下	0.29	0.34	0.34	6,001 ～ 7,000 迄	2.27	1.76	1.57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
51 ～ 100 迄	0.38	0.43	0.43	7,001 ～ 8,000 "	2.41	1.84	1.63																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
101 ～ 200 "	0.51	0.51	0.51	8,001 ～ 9,000 "	2.52	1.92	1.69																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
201 ～ 300 "	0.60	0.58	0.58	9,001 ～ 10,000 "	2.65	2.00	1.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
301 ～ 400 "	0.68	0.64	0.64	10,001 ～ 12,000 "	2.86	2.13	1.85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
401 ～ 500 "	0.75	0.70	0.70	12,001 ～ 14,000 "	3.05	2.24	1.93																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
501 ～ 600 "	0.81	0.75	0.75	14,001 ～ 16,000 "	3.22	2.35	2.02																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
601 ～ 700 "	0.86	0.79	0.79	16,001 ～ 18,000 "	3.38	2.44	2.09																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
701 ～ 800 "	0.90	0.83	0.82	18,001 ～ 20,000 "	3.56	2.54	2.16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
801 ～ 900 "	0.95	0.86	0.85	20,001 ～ 22,000 "	3.70	2.63	2.22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
901 ～ 1,000 "	1.00	0.89	0.87	22,001 ～ 24,000 "	3.84	2.71	2.29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1,001 ～ 1,500 "	1.19	1.03	0.99	24,001 ～ 26,000 "	3.96	2.78	2.34																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1,501 ～ 2,000 "	1.33	1.14	1.08	26,001 ～ 28,000 "	4.09	2.86	2.40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2,001 ～ 2,500 "	1.48	1.22	1.14	28,001 ～ 30,000 "	4.22	2.92	2.44																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2,501 ～ 3,000 "	1.59	1.30	1.21	30,001 ～ 35,000 "	4.48	3.08	2.56																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3,001 ～ 4,000 "	1.79	1.44	1.32	35,001 ～ 40,000 "	4.74	3.23	2.67																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
4,001 ～ 5,000 "	1.96	1.57	1.42	40,001 ～ 45,000 "	4.98	3.36	2.76																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
5,001 ～ 6,000 "	2.13	1.67	1.49	45,001 ～ 50,000 "	5.21	3.49	2.86																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数			配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RC造または 構造未決定 の場合	PC造	鋼製		RC造または 構造未決定 の場合	PC造	鋼製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
50 以下	0.29	0.34	0.34	6,001 ～ 7,000 迄	2.27	1.76	1.57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
51 ～ 100 迄	0.38	0.43	0.43	7,001 ～ 8,000 "	2.41	1.84	1.63																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
101 ～ 200 "	0.51	0.51	0.51	8,001 ～ 9,000 "	2.52	1.92	1.69																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
201 ～ 300 "	0.60	0.58	0.58	9,001 ～ 10,000 "	2.65	2.00	1.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
301 ～ 400 "	0.68	0.64	0.64	10,001 ～ 12,000 "	2.86	2.13	1.85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
401 ～ 500 "	0.75	0.70	0.70	12,001 ～ 14,000 "	3.05	2.24	1.93																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
501 ～ 600 "	0.81	0.75	0.75	14,001 ～ 16,000 "	3.22	2.35	2.02																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
601 ～ 700 "	0.86	0.79	0.79	16,001 ～ 18,000 "	3.38	2.44	2.09																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
701 ～ 800 "	0.90	0.83	0.82	18,001 ～ 20,000 "	3.56	2.54	2.16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
801 ～ 900 "	0.95	0.86	0.85	20,001 ～ 22,000 "	3.70	2.63	2.22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
901 ～ 1,000 "	1.00	0.89	0.87	22,001 ～ 24,000 "	3.84	2.71	2.29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1,001 ～ 1,500 "	1.19	1.03	0.99	24,001 ～ 26,000 "	3.96	2.78	2.34																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1,501 ～ 2,000 "	1.33	1.14	1.08	26,001 ～ 28,000 "	4.09	2.86	2.40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2,001 ～ 2,500 "	1.48	1.22	1.14	28,001 ～ 30,000 "	4.22	2.92	2.44																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2,501 ～ 3,000 "	1.59	1.30	1.21	30,001 ～ 35,000 "	4.48	3.08	2.56																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3,001 ～ 4,000 "	1.79	1.44	1.32	35,001 ～ 40,000 "	4.74	3.23	2.67																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
4,001 ～ 5,000 "	1.96	1.57	1.42	40,001 ～ 45,000 "	4.98	3.36	2.76																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
5,001 ～ 6,000 "	2.13	1.67	1.49	45,001 ～ 50,000 "	5.21	3.49	2.86																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
P238	<p>2) 詳細設計 実施設計(詳細設計)における設計対象容量に係る補正は第4表、第6表あるいは第8表、第9表の各基本歩掛のすべての項目(ただし、設計協議及び現地調査を除く。)について、第13表のそれぞれの補正係数を適用する。 第13表 詳細設計対象容量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="350 478 1516 1409"> <thead> <tr> <th rowspan="3">配水池 有効容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="5">補正係数</th> <th rowspan="3">配水池 有効容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="5">補正係数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">RC造</th> <th rowspan="2">PC造</th> <th colspan="3">鋼製</th> <th rowspan="2">RC造</th> <th rowspan="2">PC造</th> <th colspan="3">鋼製</th> </tr> <tr> <th>第8表 第9表 基準 補正 係数 (A)</th> <th>第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計補正 係数 (B)</th> <th>第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計を除 く補正 係数 (C)</th> <th>第8表 第9表 基準 補正 係数 (A)</th> <th>第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計補正 係数 (B)</th> <th>第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計を除 く補正 係数 (C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50以下</td><td>0.29</td><td>0.54</td><td>0.62</td><td>1.057</td><td>0.903</td><td>6,001～ 7,000迄</td><td>2.27</td><td>1.98</td><td>1.80</td><td>0.887</td><td>1.100</td></tr> <tr><td>51～ 100迄</td><td>0.38</td><td>0.59</td><td>0.66</td><td>1.052</td><td>0.915</td><td>7,001～ 8,000〃</td><td>2.41</td><td>2.07</td><td>1.89</td><td>0.881</td><td>1.107</td></tr> <tr><td>101～ 200〃</td><td>0.51</td><td>0.64</td><td>0.70</td><td>1.047</td><td>0.927</td><td>8,001～ 9,000〃</td><td>2.52</td><td>2.16</td><td>1.94</td><td>0.874</td><td>1.114</td></tr> <tr><td>201～ 300〃</td><td>0.60</td><td>0.69</td><td>0.74</td><td>1.042</td><td>0.939</td><td>9,001～10,000〃</td><td>2.65</td><td>2.25</td><td>2.01</td><td>0.865</td><td>1.120</td></tr> <tr><td>301～ 400〃</td><td>0.68</td><td>0.74</td><td>0.78</td><td>1.037</td><td>0.951</td><td>10,001～12,000〃</td><td>2.86</td><td>2.39</td><td>2.12</td><td>0.857</td><td>1.127</td></tr> <tr><td>401～ 500〃</td><td>0.75</td><td>0.79</td><td>0.82</td><td>1.032</td><td>0.963</td><td>12,001～14,000〃</td><td>3.05</td><td>2.52</td><td>2.22</td><td>0.850</td><td>1.135</td></tr> <tr><td>501～ 600〃</td><td>0.81</td><td>0.84</td><td>0.86</td><td>1.027</td><td>0.975</td><td>14,001～16,000〃</td><td>3.22</td><td>2.64</td><td>2.31</td><td>0.844</td><td>1.143</td></tr> <tr><td>601～ 700〃</td><td>0.86</td><td>0.89</td><td>0.90</td><td>1.020</td><td>0.989</td><td>16,001～18,000〃</td><td>3.38</td><td>2.74</td><td>2.39</td><td>0.839</td><td>1.147</td></tr> <tr><td>701～ 800〃</td><td>0.90</td><td>0.93</td><td>0.94</td><td>1.007</td><td>0.990</td><td>18,001～20,000〃</td><td>3.56</td><td>2.85</td><td>2.47</td><td>0.833</td><td>1.154</td></tr> <tr><td>801～ 900〃</td><td>0.95</td><td>0.97</td><td>0.97</td><td>1.005</td><td>1.001</td><td>20,001～22,000〃</td><td>3.70</td><td>2.96</td><td>2.55</td><td>0.825</td><td>1.163</td></tr> <tr><td>901～1,000〃</td><td>1.00</td><td>1.00</td><td>1.00</td><td>1.000</td><td>1.000</td><td>22,001～24,000〃</td><td>3.84</td><td>3.04</td><td>2.61</td><td>0.823</td><td>1.165</td></tr> <tr><td>1,001～1,500〃</td><td>1.19</td><td>1.16</td><td>1.13</td><td>0.974</td><td>1.028</td><td>24,001～26,000〃</td><td>3.96</td><td>3.12</td><td>2.68</td><td>0.818</td><td>1.165</td></tr> <tr><td>1,501～2,000〃</td><td>1.33</td><td>1.28</td><td>1.23</td><td>0.959</td><td>1.040</td><td>26,001～28,000〃</td><td>4.09</td><td>3.21</td><td>2.74</td><td>0.814</td><td>1.172</td></tr> <tr><td>2,001～2,500〃</td><td>1.48</td><td>1.37</td><td>1.31</td><td>0.951</td><td>1.045</td><td>28,001～30,000〃</td><td>4.22</td><td>3.28</td><td>2.80</td><td>0.810</td><td>1.172</td></tr> <tr><td>2,501～3,000〃</td><td>1.59</td><td>1.46</td><td>1.38</td><td>0.943</td><td>1.059</td><td>30,001～35,000〃</td><td>4.48</td><td>3.46</td><td>2.93</td><td>0.803</td><td>1.181</td></tr> <tr><td>3,001～4,000〃</td><td>1.79</td><td>1.62</td><td>1.51</td><td>0.925</td><td>1.073</td><td>35,001～40,000〃</td><td>4.74</td><td>3.63</td><td>3.06</td><td>0.794</td><td>1.187</td></tr> <tr><td>4,001～5,000〃</td><td>1.96</td><td>1.76</td><td>1.62</td><td>0.908</td><td>1.087</td><td>40,001～45,000〃</td><td>4.98</td><td>3.78</td><td>3.17</td><td>0.789</td><td>1.193</td></tr> <tr><td>5,001～6,000〃</td><td>2.13</td><td>1.88</td><td>1.72</td><td>0.894</td><td>1.092</td><td>45,001～50,000〃</td><td>5.21</td><td>3.92</td><td>3.27</td><td>0.785</td><td>1.198</td></tr> </tbody> </table> <p>備考 鋼製配水池・調整池の積算            1) 配水池・調整池の土木設計の積算               第9表配水池・調整池の土木設計基本歩掛×(A)×(B)            2) 配水池・調整池の土木設計以外の積算               第9表配水池・調整池の土木設計以外の基本歩掛×(A)×(C)            3) 配水池・調整池の積算               1) + 2)            4) 配水池・調整池有効容量が50,000m<sup>3</sup>を超える場合は、別途考慮する。</p>	配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数					配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数					RC造	PC造	鋼製			RC造	PC造	鋼製			第8表 第9表 基準 補正 係数 (A)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計補正 係数 (B)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計を除 く補正 係数 (C)	第8表 第9表 基準 補正 係数 (A)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計補正 係数 (B)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計を除 く補正 係数 (C)	50以下	0.29	0.54	0.62	1.057	0.903	6,001～ 7,000迄	2.27	1.98	1.80	0.887	1.100	51～ 100迄	0.38	0.59	0.66	1.052	0.915	7,001～ 8,000〃	2.41	2.07	1.89	0.881	1.107	101～ 200〃	0.51	0.64	0.70	1.047	0.927	8,001～ 9,000〃	2.52	2.16	1.94	0.874	1.114	201～ 300〃	0.60	0.69	0.74	1.042	0.939	9,001～10,000〃	2.65	2.25	2.01	0.865	1.120	301～ 400〃	0.68	0.74	0.78	1.037	0.951	10,001～12,000〃	2.86	2.39	2.12	0.857	1.127	401～ 500〃	0.75	0.79	0.82	1.032	0.963	12,001～14,000〃	3.05	2.52	2.22	0.850	1.135	501～ 600〃	0.81	0.84	0.86	1.027	0.975	14,001～16,000〃	3.22	2.64	2.31	0.844	1.143	601～ 700〃	0.86	0.89	0.90	1.020	0.989	16,001～18,000〃	3.38	2.74	2.39	0.839	1.147	701～ 800〃	0.90	0.93	0.94	1.007	0.990	18,001～20,000〃	3.56	2.85	2.47	0.833	1.154	801～ 900〃	0.95	0.97	0.97	1.005	1.001	20,001～22,000〃	3.70	2.96	2.55	0.825	1.163	901～1,000〃	1.00	1.00	1.00	1.000	1.000	22,001～24,000〃	3.84	3.04	2.61	0.823	1.165	1,001～1,500〃	1.19	1.16	1.13	0.974	1.028	24,001～26,000〃	3.96	3.12	2.68	0.818	1.165	1,501～2,000〃	1.33	1.28	1.23	0.959	1.040	26,001～28,000〃	4.09	3.21	2.74	0.814	1.172	2,001～2,500〃	1.48	1.37	1.31	0.951	1.045	28,001～30,000〃	4.22	3.28	2.80	0.810	1.172	2,501～3,000〃	1.59	1.46	1.38	0.943	1.059	30,001～35,000〃	4.48	3.46	2.93	0.803	1.181	3,001～4,000〃	1.79	1.62	1.51	0.925	1.073	35,001～40,000〃	4.74	3.63	3.06	0.794	1.187	4,001～5,000〃	1.96	1.76	1.62	0.908	1.087	40,001～45,000〃	4.98	3.78	3.17	0.789	1.193	5,001～6,000〃	2.13	1.88	1.72	0.894	1.092	45,001～50,000〃	5.21	3.92	3.27	0.785	1.198	<p>2) 詳細設計 実施設計(詳細設計)における設計対象容量に係る補正は第4表、第6表あるいは第8表、第9表の各基本歩掛のすべての項目(ただし、設計協議及び現地調査を除く。)について、第15表の補正係数を適用する。 第15表 詳細設計対象容量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1561 478 2727 1409"> <thead> <tr> <th rowspan="3">配水池 有効容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="5">補正係数</th> <th rowspan="3">配水池 有効容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="5">補正係数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">RC造</th> <th rowspan="2">PC造</th> <th colspan="3">鋼製</th> <th rowspan="2">RC造</th> <th rowspan="2">PC造</th> <th colspan="3">鋼製</th> </tr> <tr> <th>第8表 第9表 基準 補正 係数 (A)</th> <th>第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計補正 係数 (B)</th> <th>第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計を除 く補正 係数 (C)</th> <th>第8表 第9表 基準 補正 係数 (A)</th> <th>第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計補正 係数 (B)</th> <th>第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計を除 く補正 係数 (C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50以下</td><td>0.29</td><td>0.54</td><td>0.62</td><td>1.057</td><td>0.903</td><td>6,001～ 7,000迄</td><td>2.27</td><td>1.98</td><td>1.80</td><td>0.887</td><td>1.100</td></tr> <tr><td>51～ 100迄</td><td>0.38</td><td>0.59</td><td>0.66</td><td>1.052</td><td>0.915</td><td>7,001～ 8,000〃</td><td>2.41</td><td>2.07</td><td>1.89</td><td>0.881</td><td>1.107</td></tr> <tr><td>101～ 200〃</td><td>0.51</td><td>0.64</td><td>0.70</td><td>1.047</td><td>0.927</td><td>8,001～ 9,000〃</td><td>2.52</td><td>2.16</td><td>1.94</td><td>0.874</td><td>1.114</td></tr> <tr><td>201～ 300〃</td><td>0.60</td><td>0.69</td><td>0.74</td><td>1.042</td><td>0.939</td><td>9,001～10,000〃</td><td>2.65</td><td>2.25</td><td>2.01</td><td>0.865</td><td>1.120</td></tr> <tr><td>301～ 400〃</td><td>0.68</td><td>0.74</td><td>0.78</td><td>1.037</td><td>0.951</td><td>10,001～12,000〃</td><td>2.86</td><td>2.39</td><td>2.12</td><td>0.857</td><td>1.127</td></tr> <tr><td>401～ 500〃</td><td>0.75</td><td>0.79</td><td>0.82</td><td>1.032</td><td>0.963</td><td>12,001～14,000〃</td><td>3.05</td><td>2.52</td><td>2.22</td><td>0.850</td><td>1.135</td></tr> <tr><td>501～ 600〃</td><td>0.81</td><td>0.84</td><td>0.86</td><td>1.027</td><td>0.975</td><td>14,001～16,000〃</td><td>3.22</td><td>2.64</td><td>2.31</td><td>0.844</td><td>1.143</td></tr> <tr><td>601～ 700〃</td><td>0.86</td><td>0.89</td><td>0.90</td><td>1.020</td><td>0.989</td><td>16,001～18,000〃</td><td>3.38</td><td>2.74</td><td>2.39</td><td>0.839</td><td>1.147</td></tr> <tr><td>701～ 800〃</td><td>0.90</td><td>0.93</td><td>0.94</td><td>1.007</td><td>0.990</td><td>18,001～20,000〃</td><td>3.56</td><td>2.85</td><td>2.47</td><td>0.833</td><td>1.154</td></tr> <tr><td>801～ 900〃</td><td>0.95</td><td>0.97</td><td>0.97</td><td>1.005</td><td>1.001</td><td>20,001～22,000〃</td><td>3.70</td><td>2.96</td><td>2.55</td><td>0.825</td><td>1.163</td></tr> <tr><td>901～1,000〃</td><td>1.00</td><td>1.00</td><td>1.00</td><td>1.000</td><td>1.000</td><td>22,001～24,000〃</td><td>3.84</td><td>3.04</td><td>2.61</td><td>0.823</td><td>1.165</td></tr> <tr><td>1,001～1,500〃</td><td>1.19</td><td>1.16</td><td>1.13</td><td>0.974</td><td>1.028</td><td>24,001～26,000〃</td><td>3.96</td><td>3.12</td><td>2.68</td><td>0.818</td><td>1.165</td></tr> <tr><td>1,501～2,000〃</td><td>1.33</td><td>1.28</td><td>1.23</td><td>0.959</td><td>1.040</td><td>26,001～28,000〃</td><td>4.09</td><td>3.21</td><td>2.74</td><td>0.814</td><td>1.172</td></tr> <tr><td>2,001～2,500〃</td><td>1.48</td><td>1.37</td><td>1.31</td><td>0.951</td><td>1.045</td><td>28,001～30,000〃</td><td>4.22</td><td>3.28</td><td>2.80</td><td>0.810</td><td>1.172</td></tr> <tr><td>2,501～3,000〃</td><td>1.59</td><td>1.46</td><td>1.38</td><td>0.943</td><td>1.059</td><td>30,001～35,000〃</td><td>4.48</td><td>3.46</td><td>2.93</td><td>0.803</td><td>1.181</td></tr> <tr><td>3,001～4,000〃</td><td>1.79</td><td>1.62</td><td>1.51</td><td>0.925</td><td>1.073</td><td>35,001～40,000〃</td><td>4.74</td><td>3.63</td><td>3.06</td><td>0.794</td><td>1.187</td></tr> <tr><td>4,001～5,000〃</td><td>1.96</td><td>1.76</td><td>1.62</td><td>0.908</td><td>1.087</td><td>40,001～45,000〃</td><td>4.98</td><td>3.78</td><td>3.17</td><td>0.789</td><td>1.193</td></tr> <tr><td>5,001～6,000〃</td><td>2.13</td><td>1.88</td><td>1.72</td><td>0.894</td><td>1.092</td><td>45,001～50,000〃</td><td>5.21</td><td>3.92</td><td>3.27</td><td>0.785</td><td>1.198</td></tr> </tbody> </table> <p>備考 鋼製配水池・調整池の積算            1) 配水池・調整池の土木設計の積算               第9表配水池・調整池の土木設計基本歩掛×(A)×(B)            2) 配水池・調整池の土木設計以外の積算               第9表配水池・調整池の土木設計以外の基本歩掛×(A)×(C)            3) 配水池・調整池の積算               1) + 2)            4) 配水池・調整池有効容量が50,000m<sup>3</sup>を超える場合は、別途考慮する。</p>	配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数					配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数					RC造	PC造	鋼製			RC造	PC造	鋼製			第8表 第9表 基準 補正 係数 (A)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計補正 係数 (B)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計を除 く補正 係数 (C)	第8表 第9表 基準 補正 係数 (A)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計補正 係数 (B)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計を除 く補正 係数 (C)	50以下	0.29	0.54	0.62	1.057	0.903	6,001～ 7,000迄	2.27	1.98	1.80	0.887	1.100	51～ 100迄	0.38	0.59	0.66	1.052	0.915	7,001～ 8,000〃	2.41	2.07	1.89	0.881	1.107	101～ 200〃	0.51	0.64	0.70	1.047	0.927	8,001～ 9,000〃	2.52	2.16	1.94	0.874	1.114	201～ 300〃	0.60	0.69	0.74	1.042	0.939	9,001～10,000〃	2.65	2.25	2.01	0.865	1.120	301～ 400〃	0.68	0.74	0.78	1.037	0.951	10,001～12,000〃	2.86	2.39	2.12	0.857	1.127	401～ 500〃	0.75	0.79	0.82	1.032	0.963	12,001～14,000〃	3.05	2.52	2.22	0.850	1.135	501～ 600〃	0.81	0.84	0.86	1.027	0.975	14,001～16,000〃	3.22	2.64	2.31	0.844	1.143	601～ 700〃	0.86	0.89	0.90	1.020	0.989	16,001～18,000〃	3.38	2.74	2.39	0.839	1.147	701～ 800〃	0.90	0.93	0.94	1.007	0.990	18,001～20,000〃	3.56	2.85	2.47	0.833	1.154	801～ 900〃	0.95	0.97	0.97	1.005	1.001	20,001～22,000〃	3.70	2.96	2.55	0.825	1.163	901～1,000〃	1.00	1.00	1.00	1.000	1.000	22,001～24,000〃	3.84	3.04	2.61	0.823	1.165	1,001～1,500〃	1.19	1.16	1.13	0.974	1.028	24,001～26,000〃	3.96	3.12	2.68	0.818	1.165	1,501～2,000〃	1.33	1.28	1.23	0.959	1.040	26,001～28,000〃	4.09	3.21	2.74	0.814	1.172	2,001～2,500〃	1.48	1.37	1.31	0.951	1.045	28,001～30,000〃	4.22	3.28	2.80	0.810	1.172	2,501～3,000〃	1.59	1.46	1.38	0.943	1.059	30,001～35,000〃	4.48	3.46	2.93	0.803	1.181	3,001～4,000〃	1.79	1.62	1.51	0.925	1.073	35,001～40,000〃	4.74	3.63	3.06	0.794	1.187	4,001～5,000〃	1.96	1.76	1.62	0.908	1.087	40,001～45,000〃	4.98	3.78	3.17	0.789	1.193	5,001～6,000〃	2.13	1.88	1.72	0.894	1.092	45,001～50,000〃	5.21	3.92	3.27	0.785	1.198
配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数					配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	RC造		PC造	鋼製			RC造		PC造	鋼製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		第8表 第9表 基準 補正 係数 (A)		第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計補正 係数 (B)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計を除 く補正 係数 (C)			第8表 第9表 基準 補正 係数 (A)		第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計補正 係数 (B)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計を除 く補正 係数 (C)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
50以下	0.29	0.54	0.62	1.057	0.903	6,001～ 7,000迄	2.27	1.98	1.80	0.887	1.100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
51～ 100迄	0.38	0.59	0.66	1.052	0.915	7,001～ 8,000〃	2.41	2.07	1.89	0.881	1.107																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
101～ 200〃	0.51	0.64	0.70	1.047	0.927	8,001～ 9,000〃	2.52	2.16	1.94	0.874	1.114																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
201～ 300〃	0.60	0.69	0.74	1.042	0.939	9,001～10,000〃	2.65	2.25	2.01	0.865	1.120																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
301～ 400〃	0.68	0.74	0.78	1.037	0.951	10,001～12,000〃	2.86	2.39	2.12	0.857	1.127																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
401～ 500〃	0.75	0.79	0.82	1.032	0.963	12,001～14,000〃	3.05	2.52	2.22	0.850	1.135																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
501～ 600〃	0.81	0.84	0.86	1.027	0.975	14,001～16,000〃	3.22	2.64	2.31	0.844	1.143																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
601～ 700〃	0.86	0.89	0.90	1.020	0.989	16,001～18,000〃	3.38	2.74	2.39	0.839	1.147																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
701～ 800〃	0.90	0.93	0.94	1.007	0.990	18,001～20,000〃	3.56	2.85	2.47	0.833	1.154																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
801～ 900〃	0.95	0.97	0.97	1.005	1.001	20,001～22,000〃	3.70	2.96	2.55	0.825	1.163																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
901～1,000〃	1.00	1.00	1.00	1.000	1.000	22,001～24,000〃	3.84	3.04	2.61	0.823	1.165																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1,001～1,500〃	1.19	1.16	1.13	0.974	1.028	24,001～26,000〃	3.96	3.12	2.68	0.818	1.165																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1,501～2,000〃	1.33	1.28	1.23	0.959	1.040	26,001～28,000〃	4.09	3.21	2.74	0.814	1.172																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
2,001～2,500〃	1.48	1.37	1.31	0.951	1.045	28,001～30,000〃	4.22	3.28	2.80	0.810	1.172																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
2,501～3,000〃	1.59	1.46	1.38	0.943	1.059	30,001～35,000〃	4.48	3.46	2.93	0.803	1.181																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
3,001～4,000〃	1.79	1.62	1.51	0.925	1.073	35,001～40,000〃	4.74	3.63	3.06	0.794	1.187																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
4,001～5,000〃	1.96	1.76	1.62	0.908	1.087	40,001～45,000〃	4.98	3.78	3.17	0.789	1.193																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
5,001～6,000〃	2.13	1.88	1.72	0.894	1.092	45,001～50,000〃	5.21	3.92	3.27	0.785	1.198																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数					配水池 有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	RC造	PC造	鋼製				RC造	PC造	鋼製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			第8表 第9表 基準 補正 係数 (A)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計補正 係数 (B)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計を除 く補正 係数 (C)				第8表 第9表 基準 補正 係数 (A)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計補正 係数 (B)	第8表 第9表 配水池 ・ 調整池 土木設 計を除 く補正 係数 (C)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
50以下	0.29	0.54	0.62	1.057	0.903	6,001～ 7,000迄	2.27	1.98	1.80	0.887	1.100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
51～ 100迄	0.38	0.59	0.66	1.052	0.915	7,001～ 8,000〃	2.41	2.07	1.89	0.881	1.107																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
101～ 200〃	0.51	0.64	0.70	1.047	0.927	8,001～ 9,000〃	2.52	2.16	1.94	0.874	1.114																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
201～ 300〃	0.60	0.69	0.74	1.042	0.939	9,001～10,000〃	2.65	2.25	2.01	0.865	1.120																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
301～ 400〃	0.68	0.74	0.78	1.037	0.951	10,001～12,000〃	2.86	2.39	2.12	0.857	1.127																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
401～ 500〃	0.75	0.79	0.82	1.032	0.963	12,001～14,000〃	3.05	2.52	2.22	0.850	1.135																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
501～ 600〃	0.81	0.84	0.86	1.027	0.975	14,001～16,000〃	3.22	2.64	2.31	0.844	1.143																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
601～ 700〃	0.86	0.89	0.90	1.020	0.989	16,001～18,000〃	3.38	2.74	2.39	0.839	1.147																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
701～ 800〃	0.90	0.93	0.94	1.007	0.990	18,001～20,000〃	3.56	2.85	2.47	0.833	1.154																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
801～ 900〃	0.95	0.97	0.97	1.005	1.001	20,001～22,000〃	3.70	2.96	2.55	0.825	1.163																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
901～1,000〃	1.00	1.00	1.00	1.000	1.000	22,001～24,000〃	3.84	3.04	2.61	0.823	1.165																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1,001～1,500〃	1.19	1.16	1.13	0.974	1.028	24,001～26,000〃	3.96	3.12	2.68	0.818	1.165																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1,501～2,000〃	1.33	1.28	1.23	0.959	1.040	26,001～28,000〃	4.09	3.21	2.74	0.814	1.172																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
2,001～2,500〃	1.48	1.37	1.31	0.951	1.045	28,001～30,000〃	4.22	3.28	2.80	0.810	1.172																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
2,501～3,000〃	1.59	1.46	1.38	0.943	1.059	30,001～35,000〃	4.48	3.46	2.93	0.803	1.181																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
3,001～4,000〃	1.79	1.62	1.51	0.925	1.073	35,001～40,000〃	4.74	3.63	3.06	0.794	1.187																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
4,001～5,000〃	1.96	1.76	1.62	0.908	1.087	40,001～45,000〃	4.98	3.78	3.17	0.789	1.193																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
5,001～6,000〃	2.13	1.88	1.72	0.894	1.092	45,001～50,000〃	5.21	3.92	3.27	0.785	1.198																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

## 令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和 6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）
P246	<p>3-3-1 適用範囲</p> <p>この積算歩掛は同一敷地内に浄水施設(急速ろ過方式または膜ろ過方式、紫外線処理方式)全般がある場合を示す。原則として、浄水場施設のうち第3-1表、第3-2表、第3-3表、第3-4表、第3-5表に示す標準的な浄水施設に係る実施設計を業務委託する場合に適用し、その基本歩掛については「水道施設に関する技術的基準(施設基準)」、「水道施設設計指針(2012)」等の施設諸元の範囲内で適用するものとする。各施設を個々単独に業務委託する場合には該当項目の歩掛を適宜加算するものとし、既存の設計図書が流用できる特殊事情がある場合には該当項目の歩掛を減ずることとする。</p> <p>また、次に示す浄水場の設計業務については別途委託料を算出する。</p> <p>(ア) 浄水場が他の施設(公民館等)と一体になる複合施設  (イ) 既存浄水場の改造  (ウ) 取付道路(工事用道路、専用道路等)  (エ) 水質調査及び将来水質予測  (オ) 受電容量が特別高圧の場合  (カ) 事業計画(認可設計)に係る業務  (キ) 関連配水系統の全体管網解析  (ク) 景観に配慮する等、特殊な構造及び形状の異なる設計に係る業務  (ケ) その他、第3-1表、第3-2表、第3-3表、第3-4表、第3-5表に定められていない施設  (コ) 開発行為諸手続</p> <p>浄水場実施設計基本歩掛は、基本設計と詳細設計に分かれる。基本設計については事業計画(認可設計)に定められた基本緒元(計画水量、浄水方法、位置等)に基づいて、第1表の内容の基本設計を行う。</p> <p>詳細設計については基本設計に基づき、詳細な構造、配管、仮設、施工の設計計画等、第4-1表、第4-2表、第4-3表、第4-4表、第4-5表の内容で具体的な詳細設計を行う。</p>	<p>3-3-1 適用範囲</p> <p>この積算歩掛は同一敷地内に浄水施設(急速ろ過方式または膜ろ過方式、紫外線処理方式)全般がある場合を示す。原則として、浄水場施設のうち第3-1表、第3-2表、第3-3表、第3-4表、第3-5表に示す標準的な浄水施設に係る実施設計を業務委託する場合に適用し、その基本歩掛については「水道施設に関する技術的基準(施設基準)」、「水道施設設計指針(2012)」等の施設諸元の範囲内で適用するものとする。各施設を個々単独に業務委託する場合には該当項目の歩掛を適宜加算するものとし、既存の設計図書が流用できる特殊事情がある場合には該当項目の歩掛を減ずることとする。</p> <p>また、次に示す浄水場の設計業務については別途委託料を算出する。</p> <p>(ア) 浄水場が他の施設(公民館等)と一体になる複合施設  (イ) 既存浄水場の改造  (ウ) 取付道路(工事用道路、専用道路等)  (エ) 水質調査及び将来水質予測  (オ) 受電容量が特別高圧の場合  (カ) 事業計画(認可設計)に係る業務  (キ) 関連配水系統の全体管網解析  (ク) 景観に配慮する等、特殊な構造及び形状の異なる設計に係る業務  (ケ) その他、第3-1表、第3-2表、第3-3表、第3-4表、第3-5表に定められていない施設  (コ) 開発行為諸手続  (サ) 水道施設の危機耐性に係る検討  (シ) 浄水施設・排水施設を階層化した施設または水道施設耐震工法指針・解説 2022年版に示す水槽付建築物  (ス) 浄水施設・排水施設の屋根及び覆蓋</p> <p>浄水場実施設計基本歩掛は、基本設計と詳細設計に分かれる。基本設計については事業計画(認可設計)に定められた基本緒元(計画水量、浄水方法、位置等)に基づいて、第1表の内容の基本設計を行う。</p> <p>詳細設計については基本設計に基づき、詳細な構造、配管、仮設、施工の設計計画等、第4-1表、第4-2表、第4-3表、第4-4表、第4-5表の内容で具体的な詳細設計を行う。</p>

## 令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）
P261	<p>3-3-2-2 実施設計(詳細設計) 第4-1表 2,000m<sup>3</sup>/日以上(急速ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 1. 本表のうち必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については、3-1-2-2の第4表、第6表、第8表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)基本歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。 3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池(場内配管、場内整備を除く)の土木設計歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。 4. 管理本館、薬注施設、自家発電施設の建築設計は合棟を基としており、分棟の場合は建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。 5. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 6. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 7. レベル2対応を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>3-3-2-2 実施設計(詳細設計) 第4-1表 2,000m<sup>3</sup>/日以上(急速ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については3-1-2-2の第4表、第6表、第8表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。 3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の土木基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。 4. 管理本館、薬注施設、自家発電施設の建築歩掛は合棟を基としており、分棟の場合は、建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。 5. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022</b>年版方法4によるものとする。 6. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査(計算(構造)に人工計上されている作業項目)に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b> 7. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 8. <b>レベル2地震動での解析を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</b> 9. <b>土木設計の計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b></p>
P262	<p>第4-2表 2,000m<sup>3</sup>/日未満(急速ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 1. 本表のうち必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については、3-1-2-2の第4表、第6表、第8表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。 3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池(場内配管、場内整備を除く)の土木設計歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。 4. 管理本館、薬注施設、自家発電施設の建築設計は合棟を基としており、分棟の場合は建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。 5. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 6. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 7. レベル2対応を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第4-2表 2,000m<sup>3</sup>/日未満(急速ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については3-1-2-2の第4表、第6表、第8表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。 3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の土木基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。 4. 管理本館、薬注施設、自家発電施設の建築歩掛は合棟を基としており、分棟の場合は、建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。 5. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022</b>年版方法4によるものとする。 6. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査(計算(構造)に人工計上されている作業項目)に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b> 7. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 8. <b>レベル2地震動での解析を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</b> 9. <b>土木設計の計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b></p>

## 令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）
P263	<p>第4-3表 2,000m<sup>3</sup>/日以上(膜ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛(表略)</p> <p>備考 1. 本表のうち必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については、3-1-2-2の第4表、第6表、第8表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池(場内配管、場内整備を除く)の土木設計歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。</p> <p>4. 膜ろ過方式の建築設計は膜ろ過装置、浄水池、送水ポンプ棟、管理本館、薬注施設、薬品洗浄施設、自家発電施設の合棟を基としており分棟の場合は建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>5. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震設計を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。</p> <p>6. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>7. レベル2対応を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第4-3表 2,000m<sup>3</sup>/日以上(膜ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛(表略)</p> <p>備考 1. 本表のうち必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については、3-1-2-2の第4表、第6表、第8表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池(場内配管、場内整備を除く)の土木設計歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。</p> <p>4. 膜ろ過方式の建築設計は膜ろ過装置、浄水池、送水ポンプ棟、管理本館、薬注施設、薬品洗浄施設、自家発電施設の合棟を基としており分棟の場合は建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>5. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022</b>年版方法4によるものとする。</p> <p>6. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査(計算(構造)に人工計上されている作業項目)に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b></p> <p>7. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>8. レベル2<b>地震動での解析</b>を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p> <p>9. <b>土木設計の計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b></p>
P264	<p>第4-4表 2,000m<sup>3</sup>/日未満(膜ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛(表略)</p> <p>備考 1. 本表のうち必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については、3-1-2-2の第4表、第6表、第8表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池(場内配管、場内整備を除く)の土木設計歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。</p> <p>4. 膜ろ過方式で薬品沈でん池等の前処理、塩素混和池、排泥池・濃縮槽・天日乾燥床(自然式)等の汚泥処理施設が必要な場合は第5-2表より積算計上する。</p> <p>5. 膜ろ過方式の建築設計は膜ろ過装置、浄水池、送水ポンプ棟、管理本館、薬注施設、自家発電施設の合棟を基としており分棟の場合は建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>6. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。</p> <p>7. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>8. レベル2対応を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第4-4表 2,000m<sup>3</sup>/日未満(膜ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については3-1-2-2の第4表、第6表、第8表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の土木基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。</p> <p>4. 膜ろ過方式で薬品沈でん池等の前処理、塩素混和池、排泥池・濃縮槽・天日乾燥床(自然式)等の汚泥処理施設が必要な場合は第5-2表より積算計上する。</p> <p>5. 膜ろ過方式の建築設計は膜ろ過装置、浄水池、送水ポンプ棟、薬注施設、自家発電施設の合棟を基としており、分棟の場合は、建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>6. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022</b>年版方法4によるものとする。</p> <p>7. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査(計算(構造)に人工計上されている作業項目)に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b></p> <p>8. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>9. レベル2<b>地震動での解析</b>を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p> <p>10. <b>土木設計の計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b></p>

## 令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）
P265	<p>第4-5表 2,000m<sup>3</sup>/日未満(紫外線処理方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛(表略)</p> <p>備考 1. 本表のうち必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については、3-1-2-2の第4表、第6表、第8表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池(場内配管、場内整備を除く)の土木設計歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。</p> <p>4. 紫外線処理方式で他の施設が必要な場合は、第5-2表、第5-4表より積算計上する。</p> <p>5. 紫外線処理方式の建築設計は紫外線照射装置、送水ポンプ棟、管理本館、薬注施設、自家発電施設の合棟を基としており分棟の場合は建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>6. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。</p> <p>7. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>8. レベル2対応を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第4-5表 2,000m<sup>3</sup>/日未満(紫外線処理方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については3-1-2-2の第4表、第6表、第8表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の土木基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。</p> <p>4. 紫外線処理方式で他の施設が必要な場合は、第5-2表、第5-4表より積算計上する。</p> <p>5. 紫外線処理方式の建築設計は紫外線照射装置、送水ポンプ棟、管理本館、薬注施設、自家発電施設の合棟を基としており、分棟の場合は、建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>6. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。</p> <p>7. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査(計算(構造)に人工計上されている作業項目)に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b></p> <p>8. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>9. レベル2<b>地震動での解析</b>を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p> <p>10. <b>土木設計の計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b></p>
P268	<p>第5-1表(3/3) 2,000m<sup>3</sup>/日以上(急速ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表のうち必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については、3-1-2-2の第5表、第7表、第9表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池(場内配管、場内整備を除く)の土木設計歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。</p> <p>4. 管理本館、薬注施設、自家発電施設の建築設計は合棟を基としており、分棟の場合は建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>5. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。</p> <p>6. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>7. レベル2対応を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第5-1表(3/3) 2,000m<sup>3</sup>/日以上(急速ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については3-1-2-2の第5表、第7表、第9表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の土木基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。</p> <p>4. 管理本館、薬注施設、自家発電施設の建築歩掛は合棟を基としており、分棟の場合は、建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>5. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。</p> <p>6. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査(計算(構造)に人工計上されている作業項目)に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b></p> <p>7. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>8. レベル2<b>地震動での解析</b>を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p> <p>9. <b>土木設計の計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b></p>

## 令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）
P271	<p>第5-2表(3/3) 2,000m<sup>3</sup>/日未満(急速ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表のうち必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については、3-1-2-2の第5表、第7表、第9表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池(場内配管、場内整備を除く)の土木設計歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。</p> <p>4. 管理本館、薬注施設、自家発電施設の建築設計は合棟を基としており、分棟の場合は建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>5. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。</p> <p>6. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>7. レベル2対応を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第5-2表(3/3) 2,000m<sup>3</sup>/日未満(急速ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については3-1-2-2の第5表、第7表、第9表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の土木基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。</p> <p>4. 管理本館、薬注施設、自家発電施設の建築歩掛は合棟を基としており、分棟の場合は、建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>5. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022</b>年版方法4によるものとする。</p> <p>6. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査(計算(構造)に人工計上されている作業項目)に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b></p> <p>7. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>8. <b>レベル2地震動での解析を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</b></p> <p>9. <b>土木設計の計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b></p>
P274	<p>第5-3表(3/3) 2,000m<sup>3</sup>/日以上(膜ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表のうち必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については、3-1-2-2の第5表、第7表、第9表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池(場内配管、場内整備を除く)の土木設計歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。</p> <p>4. 膜ろ過方式の建築設計は膜ろ過装置、浄水池、送水ポンプ棟、管理本館、薬注施設、薬品洗浄施設、自家発電施設の合棟を基としており分棟の場合は建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>5. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震設計を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。</p> <p>6. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>7. レベル2対応を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第5-3表(3/3) 2,000m<sup>3</sup>/日以上(膜ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については3-1-2-2の第5表、第7表、第9表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の土木基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。</p> <p>4. 膜ろ過方式の建築設計は膜ろ過装置、浄水池、送水ポンプ棟、薬注施設、薬品洗浄施設、自家発電施設の合棟を基としており、分棟の場合は、建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>5. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022</b>年版方法4によるものとする。</p> <p>6. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査(計算(構造)に人工計上されている作業項目)に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b></p> <p>7. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>8. <b>レベル2地震動での解析を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</b></p> <p>9. <b>土木設計の計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b></p>



## 令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和 6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）
P276	<p>第5-4表(2/2) 2,000m<sup>3</sup>/日未満(膜ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表のうち必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については、3-1-2-2の第5表、第7表、第9表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池(場内配管、場内整備を除く)の土木設計歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。</p> <p>4. 膜ろ過方式で薬品沈でん池等の前処理、塩素混和池、排泥池・濃縮槽・天日乾燥床(自然式)等の汚泥処理施設が必要な場合は第5-2表(1/3)及び第5-2表(2/3)より積算計上する。</p> <p>5. 膜ろ過方式の建築設計は膜ろ過装置、浄水池、送水ポンプ棟、管理本館、薬注施設、自家発電施設の合棟を基としており分棟の場合は建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>6. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。</p> <p>7. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>8. レベル2対応を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第5-4表(2/2) 2,000m<sup>3</sup>/日未満(膜ろ過方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については3-1-2-2の第5表、第7表、第9表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の土木基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。</p> <p>4. 膜ろ過方式で薬品沈でん池等の前処理、塩素混和池、排泥池・濃縮槽・天日乾燥床(自然式)当の汚泥処理施設が必要な場合は第5-2表より積算計上する。</p> <p>5. 膜ろ過方式の建築設計は膜ろ過装置、浄水池、送水ポンプ棟、薬注施設、自家発電施設の合棟を基としており、分棟の場合は、建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>6. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。</p> <p>7. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査(計算(構造)に人工計上されている作業項目)に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b></p> <p>8. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>9. <b>レベル2地震動での解析を必要としない場合は</b>、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</p> <p>10. <b>土木設計の計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b></p>

## 令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和 6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）
P278	<p>第5-5表(2/2) 2,000m<sup>3</sup>/日未満(紫外線処理方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表のうち必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については、3-1-2-2の第5表、第7表、第9表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池(場内配管、場内整備を除く)の土木設計歩掛に、3-1-3-1第13表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>当りである。</p> <p>4. 紫外線処理方式で他の施設が必要な場合は、第5-2表、第5-4表より積算計上する。</p> <p>5. 紫外線処理方式の建築設計は紫外線照射装置、送水ポンプ棟、管理本館、薬注施設、自家発電施設の合棟を基としており分棟の場合は建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>6. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。</p> <p>7. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>8. レベル2対応を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点2桁目を四捨五入した値を用いる。</p>	<p>第5-5表(2/2) 2,000m<sup>3</sup>/日未満(紫外線処理方式)浄水場実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。</p> <p>2. 浄水池の代わりに配水池がある場合については3-1-2-2の第5表、第7表、第9表の配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛のうち該当する配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。この場合、本表から浄水池の歩掛分を減ずる。</p> <p>3. 送水ポンプ施設にポンプ井がある場合については、3-1-2-2第5表RC配水池実施設計(詳細設計)基本歩掛内訳の配水池・調整池施設(場内配管、場内整備を除く)の土木基本歩掛に、3-1-3-1第15表の設計対象容量に係る補正係数を乗じて積算計上する。基準(対象)容量は1,000m<sup>3</sup>あたりである。</p> <p>4. 紫外線処理方式で他の施設が必要な場合は、第5-2表、第5-4表より積算計上する。</p> <p>5. 紫外線処理方式の建築設計は紫外線照射装置、送水ポンプ棟、管理本館、薬注施設、自家発電施設の合棟を基としており、分棟の場合は、建築設計基本歩掛を30/100増加するものとする。</p> <p>6. 作業項目の計算(構造)は、<b>簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022</b>年版方法4によるものとする。</p> <p>7. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査(計算(構造)に人工計上されている作業項目)に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b></p> <p>8. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。</p> <p>9. <b>レベル2地震動での解析を必要としない場合は、各作業項目の計算(構造)の値に40%を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を用いる。</b></p> <p>10. <b>土木設計の計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b></p>

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																							
P279	<新規>	<p>3-3-2-5 浄水場設計における2次元静的非線形解析に係る補正 第8表 2次元静的非線形解析に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1561 422 1991 527"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計算(構造)</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>審査</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例)浄水場 着水井 水量 20,000m<sup>3</sup>/日の2次元非線形解析における積算 条件：掘削深度に係る補正、地盤に係る補正、施設単独に係る補正、分割発注に係る補正なし</p> <p>計算(構造)及び審査の積算(例) 第5-1表(土木設計 着水井)より算定 (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1561 678 2718 783"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積算(例) 計算(構造)</td> <td></td> <td>0.9</td> <td>2.6</td> <td>4.4</td> <td>4.0</td> <td>2.8</td> <td>14.7</td> <td>基本歩掛人工×1.9×1.224</td> </tr> <tr> <td>積算(例) 審査</td> <td>0.6</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.6</td> <td>基本歩掛人工×1.7×1.224</td> </tr> </tbody> </table> <p>算定人工=基本歩掛人工×2次元静的線形解析に対する比率×水量補正</p> <p>3-3-2-6 浄水場設計における3次元効果に係る補正 第9表 3次元効果に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1561 930 1991 993"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元効果</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例)浄水場 着水井 水量 20,000m<sup>3</sup>/日の3次元効果における積算 条件：掘削深度に係る補正、地盤に係る補正、施設単独に係る補正、分割発注に係る補正なし</p> <p>3次元効果の積算(例) 第5-1表(土木設計 着水井)より算定 (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1561 1150 2718 1255"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積算(例) 計算(構造)～追加</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.3</td> <td>2.3</td> <td>2.1</td> <td>1.5</td> <td>7.7</td> <td>基本歩掛人工×1.0×1.224</td> </tr> </tbody> </table> <p>算定人工=基本歩掛人工×2次元静的線形解析に対する比率×水量補正</p>	作業項目	補正係数	計算(構造)	1.9	審査	1.7	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考	積算(例) 計算(構造)		0.9	2.6	4.4	4.0	2.8	14.7	基本歩掛人工×1.9×1.224	積算(例) 審査	0.6	1.0					1.6	基本歩掛人工×1.7×1.224	作業項目	補正係数	3次元効果	1.0	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考	積算(例) 計算(構造)～追加		0.5	1.3	2.3	2.1	1.5	7.7	基本歩掛人工×1.0×1.224
作業項目	補正係数																																																								
計算(構造)	1.9																																																								
審査	1.7																																																								
作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考																																																	
積算(例) 計算(構造)		0.9	2.6	4.4	4.0	2.8	14.7	基本歩掛人工×1.9×1.224																																																	
積算(例) 審査	0.6	1.0					1.6	基本歩掛人工×1.7×1.224																																																	
作業項目	補正係数																																																								
3次元効果	1.0																																																								
作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考																																																	
積算(例) 計算(構造)～追加		0.5	1.3	2.3	2.1	1.5	7.7	基本歩掛人工×1.0×1.224																																																	

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和 6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																																																																																								
P279	<p>3-3-3 補正 補正は各補正係数を乗ずるものとする。</p> <p>3-3-3-1 設計対象水量に係る補正 実施設計（基本設計及び詳細設計）設計対象水量に係る補正は基本歩掛のすべての項目（ただし、設計協議及び現地調査を除く。）について、第8-1表、第8-2表の補正係数を適用する。</p> <p>第8-1表 2,000m<sup>3</sup>/日以上 浄水場設計対象水量に係る補正係数（基本設計及び詳細設計）</p> <table border="1" data-bbox="350 564 1516 1073"> <thead> <tr> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2,000～3,000未満</td><td>0.575</td><td>25,000～30,000未満</td><td>1.370</td></tr> <tr><td>3,000～4,000 "</td><td>0.661</td><td>30,000～35,000 "</td><td>1.459</td></tr> <tr><td>4,000～5,000 "</td><td>0.730</td><td>35,000～40,000 "</td><td>1.539</td></tr> <tr><td>5,000～6,000 "</td><td>0.788</td><td>40,000～45,000 "</td><td>1.611</td></tr> <tr><td>6,000～7,000 "</td><td>0.839</td><td>45,000～50,000 "</td><td>1.678</td></tr> <tr><td>7,000～8,000 "</td><td>0.885</td><td>50,000～60,000 "</td><td>1.740</td></tr> <tr><td>8,000～9,000 "</td><td>0.926</td><td>60,000～70,000 "</td><td>1.852</td></tr> <tr><td>9,000～10,000 "</td><td>0.964</td><td>70,000～80,000 "</td><td>1.953</td></tr> <tr><td>10,000～12,000 "</td><td>1.000</td><td>80,000～90,000 "</td><td>2.045</td></tr> <tr><td>12,000～14,000 "</td><td>1.065</td><td>90,000～100,000 "</td><td>2.129</td></tr> <tr><td>14,000～16,000 "</td><td>1.123</td><td>100,000～150,000 "</td><td>2.208</td></tr> <tr><td>16,000～18,000 "</td><td>1.175</td><td>150,000～200,000 "</td><td>2.538</td></tr> <tr><td>18,000～20,000 "</td><td>1.224</td><td>200,000</td><td>2.803</td></tr> <tr><td>20,000～25,000 "</td><td>1.269</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 将来の増設計画を含めた基本設計については、増設計画の水量も加えた設計対象水量の補正係数とする。 2. 配水施設については、計画時間最大配水量（m<sup>3</sup>/日換算）に該当する設計対象水量の補正係数とする。 3. 設計対象水量が200,000m<sup>3</sup>/日を超える場合は、別途考慮する。</p>	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	2,000～3,000未満	0.575	25,000～30,000未満	1.370	3,000～4,000 "	0.661	30,000～35,000 "	1.459	4,000～5,000 "	0.730	35,000～40,000 "	1.539	5,000～6,000 "	0.788	40,000～45,000 "	1.611	6,000～7,000 "	0.839	45,000～50,000 "	1.678	7,000～8,000 "	0.885	50,000～60,000 "	1.740	8,000～9,000 "	0.926	60,000～70,000 "	1.852	9,000～10,000 "	0.964	70,000～80,000 "	1.953	10,000～12,000 "	1.000	80,000～90,000 "	2.045	12,000～14,000 "	1.065	90,000～100,000 "	2.129	14,000～16,000 "	1.123	100,000～150,000 "	2.208	16,000～18,000 "	1.175	150,000～200,000 "	2.538	18,000～20,000 "	1.224	200,000	2.803	20,000～25,000 "	1.269			<p>3-3-3 補正 補正は各補正係数を乗ずるものとする。</p> <p>3-3-3-1 設計対象水量に係る補正 実施設計（基本設計及び詳細設計）設計対象水量に係る補正は基本歩掛のすべての項目（ただし、設計協議及び現地調査を除く。）について、第10-1表、第10-2表の補正係数を適用する。</p> <p>第10-2表 2,000m<sup>3</sup>/日以上 浄水場設計対象水量に係る補正係数（基本設計及び詳細設計）</p> <table border="1" data-bbox="1558 564 2724 1073"> <thead> <tr> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2,000～3,000未満</td><td>0.575</td><td>25,000～30,000未満</td><td>1.370</td></tr> <tr><td>3,000～4,000 "</td><td>0.661</td><td>30,000～35,000 "</td><td>1.459</td></tr> <tr><td>4,000～5,000 "</td><td>0.730</td><td>35,000～40,000 "</td><td>1.539</td></tr> <tr><td>5,000～6,000 "</td><td>0.788</td><td>40,000～45,000 "</td><td>1.611</td></tr> <tr><td>6,000～7,000 "</td><td>0.839</td><td>45,000～50,000 "</td><td>1.678</td></tr> <tr><td>7,000～8,000 "</td><td>0.885</td><td>50,000～60,000 "</td><td>1.740</td></tr> <tr><td>8,000～9,000 "</td><td>0.926</td><td>60,000～70,000 "</td><td>1.852</td></tr> <tr><td>9,000～10,000 "</td><td>0.964</td><td>70,000～80,000 "</td><td>1.953</td></tr> <tr><td>10,000～12,000 "</td><td>1.000</td><td>80,000～90,000 "</td><td>2.045</td></tr> <tr><td>12,000～14,000 "</td><td>1.065</td><td>90,000～100,000 "</td><td>2.129</td></tr> <tr><td>14,000～16,000 "</td><td>1.123</td><td>100,000～150,000 "</td><td>2.208</td></tr> <tr><td>16,000～18,000 "</td><td>1.175</td><td>150,000～200,000 "</td><td>2.538</td></tr> <tr><td>18,000～20,000 "</td><td>1.224</td><td>200,000</td><td>2.803</td></tr> <tr><td>20,000～25,000 "</td><td>1.269</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 将来の増設計画を含めた基本設計については、増設計画の水量も加えた設計対象水量の補正係数とする。 2. 配水施設については、計画時間最大配水量（m<sup>3</sup>/日換算）に該当する設計対象水量の補正係数とする。 3. 設計対象水量が200,000m<sup>3</sup>/日を超える場合は、別途考慮する。</p>	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	2,000～3,000未満	0.575	25,000～30,000未満	1.370	3,000～4,000 "	0.661	30,000～35,000 "	1.459	4,000～5,000 "	0.730	35,000～40,000 "	1.539	5,000～6,000 "	0.788	40,000～45,000 "	1.611	6,000～7,000 "	0.839	45,000～50,000 "	1.678	7,000～8,000 "	0.885	50,000～60,000 "	1.740	8,000～9,000 "	0.926	60,000～70,000 "	1.852	9,000～10,000 "	0.964	70,000～80,000 "	1.953	10,000～12,000 "	1.000	80,000～90,000 "	2.045	12,000～14,000 "	1.065	90,000～100,000 "	2.129	14,000～16,000 "	1.123	100,000～150,000 "	2.208	16,000～18,000 "	1.175	150,000～200,000 "	2.538	18,000～20,000 "	1.224	200,000	2.803	20,000～25,000 "	1.269		
設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数																																																																																																																							
2,000～3,000未満	0.575	25,000～30,000未満	1.370																																																																																																																							
3,000～4,000 "	0.661	30,000～35,000 "	1.459																																																																																																																							
4,000～5,000 "	0.730	35,000～40,000 "	1.539																																																																																																																							
5,000～6,000 "	0.788	40,000～45,000 "	1.611																																																																																																																							
6,000～7,000 "	0.839	45,000～50,000 "	1.678																																																																																																																							
7,000～8,000 "	0.885	50,000～60,000 "	1.740																																																																																																																							
8,000～9,000 "	0.926	60,000～70,000 "	1.852																																																																																																																							
9,000～10,000 "	0.964	70,000～80,000 "	1.953																																																																																																																							
10,000～12,000 "	1.000	80,000～90,000 "	2.045																																																																																																																							
12,000～14,000 "	1.065	90,000～100,000 "	2.129																																																																																																																							
14,000～16,000 "	1.123	100,000～150,000 "	2.208																																																																																																																							
16,000～18,000 "	1.175	150,000～200,000 "	2.538																																																																																																																							
18,000～20,000 "	1.224	200,000	2.803																																																																																																																							
20,000～25,000 "	1.269																																																																																																																									
設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数																																																																																																																							
2,000～3,000未満	0.575	25,000～30,000未満	1.370																																																																																																																							
3,000～4,000 "	0.661	30,000～35,000 "	1.459																																																																																																																							
4,000～5,000 "	0.730	35,000～40,000 "	1.539																																																																																																																							
5,000～6,000 "	0.788	40,000～45,000 "	1.611																																																																																																																							
6,000～7,000 "	0.839	45,000～50,000 "	1.678																																																																																																																							
7,000～8,000 "	0.885	50,000～60,000 "	1.740																																																																																																																							
8,000～9,000 "	0.926	60,000～70,000 "	1.852																																																																																																																							
9,000～10,000 "	0.964	70,000～80,000 "	1.953																																																																																																																							
10,000～12,000 "	1.000	80,000～90,000 "	2.045																																																																																																																							
12,000～14,000 "	1.065	90,000～100,000 "	2.129																																																																																																																							
14,000～16,000 "	1.123	100,000～150,000 "	2.208																																																																																																																							
16,000～18,000 "	1.175	150,000～200,000 "	2.538																																																																																																																							
18,000～20,000 "	1.224	200,000	2.803																																																																																																																							
20,000～25,000 "	1.269																																																																																																																									
P280	<p>第8-2表 2,000m<sup>3</sup>/日未満 浄水場設計対象水量に係る補正係数（基本設計及び詳細設計）</p> <table border="1" data-bbox="350 1257 1353 1629"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th colspan="2">補正係数</th> </tr> <tr> <th>基本設計</th> <th>詳細設計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50～100未満</td><td>0.102</td><td>0.127</td></tr> <tr><td>100～200 "</td><td>0.135</td><td>0.168</td></tr> <tr><td>200～300 "</td><td>0.178</td><td>0.223</td></tr> <tr><td>300～400 "</td><td>0.210</td><td>0.262</td></tr> <tr><td>400～600 "</td><td>0.236</td><td>0.295</td></tr> <tr><td>600～800 "</td><td>0.278</td><td>0.347</td></tr> <tr><td>800～1,000 "</td><td>0.312</td><td>0.390</td></tr> <tr><td>1,000～1,500 "</td><td>0.341</td><td>0.426</td></tr> <tr><td>1,500～2,000 "</td><td>0.402</td><td>0.502</td></tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 将来の増設計画を含めた基本設計については、増設計画の水量も加えた設計対象水量の補正係数とする。 2. 配水施設については、計画時間最大配水量（m<sup>3</sup>/日換算）に該当する設計対象水量の補正係数とする。</p>	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数		基本設計	詳細設計	50～100未満	0.102	0.127	100～200 "	0.135	0.168	200～300 "	0.178	0.223	300～400 "	0.210	0.262	400～600 "	0.236	0.295	600～800 "	0.278	0.347	800～1,000 "	0.312	0.390	1,000～1,500 "	0.341	0.426	1,500～2,000 "	0.402	0.502	<p>第10-2表 2,000m<sup>3</sup>/日未満 浄水場設計対象水量に係る補正係数（基本設計及び詳細設計）</p> <table border="1" data-bbox="1558 1257 2561 1629"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th colspan="2">補正係数</th> </tr> <tr> <th>基本設計</th> <th>詳細設計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50～100未満</td><td>0.102</td><td>0.127</td></tr> <tr><td>100～200 "</td><td>0.135</td><td>0.168</td></tr> <tr><td>200～300 "</td><td>0.178</td><td>0.223</td></tr> <tr><td>300～400 "</td><td>0.210</td><td>0.262</td></tr> <tr><td>400～600 "</td><td>0.236</td><td>0.295</td></tr> <tr><td>600～800 "</td><td>0.278</td><td>0.347</td></tr> <tr><td>800～1,000 "</td><td>0.312</td><td>0.390</td></tr> <tr><td>1,000～1,500 "</td><td>0.341</td><td>0.426</td></tr> <tr><td>1,500～2,000 "</td><td>0.402</td><td>0.502</td></tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 将来の増設計画を含めた基本設計については、増設計画の水量も加えた設計対象水量の補正係数とする。 2. 配水施設については、計画時間最大配水量（m<sup>3</sup>/日換算）に該当する設計対象水量の補正係数とする。</p>	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数		基本設計	詳細設計	50～100未満	0.102	0.127	100～200 "	0.135	0.168	200～300 "	0.178	0.223	300～400 "	0.210	0.262	400～600 "	0.236	0.295	600～800 "	0.278	0.347	800～1,000 "	0.312	0.390	1,000～1,500 "	0.341	0.426	1,500～2,000 "	0.402	0.502																																																								
設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数																																																																																																																									
	基本設計	詳細設計																																																																																																																								
50～100未満	0.102	0.127																																																																																																																								
100～200 "	0.135	0.168																																																																																																																								
200～300 "	0.178	0.223																																																																																																																								
300～400 "	0.210	0.262																																																																																																																								
400～600 "	0.236	0.295																																																																																																																								
600～800 "	0.278	0.347																																																																																																																								
800～1,000 "	0.312	0.390																																																																																																																								
1,000～1,500 "	0.341	0.426																																																																																																																								
1,500～2,000 "	0.402	0.502																																																																																																																								
設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数																																																																																																																									
	基本設計	詳細設計																																																																																																																								
50～100未満	0.102	0.127																																																																																																																								
100～200 "	0.135	0.168																																																																																																																								
200～300 "	0.178	0.223																																																																																																																								
300～400 "	0.210	0.262																																																																																																																								
400～600 "	0.236	0.295																																																																																																																								
600～800 "	0.278	0.347																																																																																																																								
800～1,000 "	0.312	0.390																																																																																																																								
1,000～1,500 "	0.341	0.426																																																																																																																								
1,500～2,000 "	0.402	0.502																																																																																																																								

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																				
P290	<p>4-2-1 適用範囲 この積算歩掛は、送・配水施設のうち標準的な配水池・調整池に係る耐震診断(詳細診断)及び耐震補強工事の実施設計を業務委託する場合に適用する。 耐震補強工事を行うためには、耐震診断(詳細診断)を行い、既存施設の耐震性の程度を把握し、耐震性能を満足しているかどうかの判断を行う。その後、施設の更新を含めた耐震化対策の検討を経た上で、耐震補強工事の設計を行う手順となる。 本設計歩掛では、この手順を基本として考える一方、耐震診断(詳細診断)の結果、補強を必要としない場合、あるいは耐震診断(詳細診断)を行わず耐震補強を実施する場合を想定し、耐震診断(詳細診断)と耐震補強工事の実施設計の基本歩掛を別々に示した。</p> <p>第1表 耐震診断(詳細診断)と耐震補強工事の実施設計における歩掛表使用ケース</p> <table border="1" data-bbox="350 709 1466 957"> <thead> <tr> <th>歩掛表使用ケース</th> <th>耐震診断(詳細診断)</th> <th>耐震補強工事の実施設計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準的な手順</td> <td>基本歩掛(第3表)</td> <td>基本歩掛(第4表)</td> </tr> <tr> <td>耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)</td> <td>基本歩掛(第3表)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)</td> <td>—</td> <td>基本歩掛(第4表)</td> </tr> <tr> <td>高度な解析(動的解析等)を実施する場合</td> <td>別途積算</td> <td>別途積算</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、耐震診断(詳細診断)の結果、施設を新設する場合は、耐震補強工事の実施設計歩掛を適用せず、配水池設計歩掛を適用するものとする、 また、次に示す診断・設計業務については別途積算計上する、 (ア) 既存配水池が他の施設(公民館等)と一体となっている複合施設 (イ) 耐震化に伴う既存配水池の撤去及び配水池の新設 (ウ) 自家発電機設備、制御設備、塩素注入設備及びそれらの建築施設 (エ) 補強工事に伴う大規模な工事用の取付道路及び造成等 (オ) 事業計画(認可設計)に係る業務 (カ) 関連配水系統の全体管網解析 (キ) 連続地中壁の本体利用 (ク) その他、第2表に定められていない施設 (ケ) 開発行為諸手続</p>	歩掛表使用ケース	耐震診断(詳細診断)	耐震補強工事の実施設計	標準的な手順	基本歩掛(第3表)	基本歩掛(第4表)	耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	基本歩掛(第3表)	—	耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	—	基本歩掛(第4表)	高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算	<p>4-2-1 適用範囲 この積算歩掛は、送・配水施設のうち標準的な配水池・調整池に係る耐震診断(詳細診断)及び耐震補強工事の実施設計を業務委託する場合に適用する。 耐震補強工事を行うためには、耐震診断(詳細診断)を行い、既存施設の耐震性の程度を把握し、耐震性能を満足しているかどうかの判断を行う。その後、施設の更新を含めた耐震化対策の検討を経た上で、耐震補強工事の設計を行う手順となる。 本設計歩掛では、この手順を基本として考える一方、耐震診断(詳細診断)の結果、補強を必要としない場合、あるいは耐震診断(詳細診断)を行わず耐震補強を実施する場合を想定し、耐震診断(詳細診断)と耐震補強工事の実施設計の基本歩掛を別々に示した。</p> <p>第1表 耐震診断(詳細診断)と耐震補強の実施設計における歩掛表仕様ケース</p> <table border="1" data-bbox="1558 709 2674 1108"> <thead> <tr> <th>歩掛表使用ケース</th> <th>耐震診断(詳細診断)</th> <th>耐震補強工事の実施設計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準的な手順</td> <td>基本歩掛(第3表)</td> <td>基本歩掛(第4表)</td> </tr> <tr> <td>耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)</td> <td>基本歩掛(第3表)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)</td> <td>—</td> <td>基本歩掛(第4表)</td> </tr> <tr> <td>高度な解析(静的非線形解析)</td> <td>第8-1表による補正</td> <td>第8-2表による補正</td> </tr> <tr> <td>3次元効果</td> <td>第9表による補正</td> <td>第9表による補正</td> </tr> <tr> <td>高度な解析(動的解析等)を実施する場合</td> <td>別途積算</td> <td>別途積算</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、耐震診断(詳細診断)の結果、施設を新設する場合は、耐震補強工事の実施設計歩掛を適用せず、配水池設計歩掛を適用するものとする、 また、次に示す診断・設計業務については別途積算計上する、 (ア) 既存配水池が他の施設(公民館等)と一体となっている複合施設 (イ) 耐震化に伴う既存配水池の撤去及び配水池の新設 (ウ) 自家発電機設備、制御設備、塩素注入設備及びそれらの建築施設 (エ) 補強工事に伴う大規模な工事用の取付道路及び造成等 (オ) 事業計画(認可設計)に係る業務 (カ) 関連配水系統の全体管網解析 (キ) 連続地中壁の本体利用 (ク) その他、第2表に定められていない施設 (ケ) 開発行為諸手続 (コ) 水道施設の危機耐性に係る検討 (サ) 浄水施設を階層化した施設または水道施設耐震工法指針・解説 2022年版に示す水槽付建築物</p>	歩掛表使用ケース	耐震診断(詳細診断)	耐震補強工事の実施設計	標準的な手順	基本歩掛(第3表)	基本歩掛(第4表)	耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	基本歩掛(第3表)	—	耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	—	基本歩掛(第4表)	高度な解析(静的非線形解析)	第8-1表による補正	第8-2表による補正	3次元効果	第9表による補正	第9表による補正	高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算
歩掛表使用ケース	耐震診断(詳細診断)	耐震補強工事の実施設計																																				
標準的な手順	基本歩掛(第3表)	基本歩掛(第4表)																																				
耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	基本歩掛(第3表)	—																																				
耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	—	基本歩掛(第4表)																																				
高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算																																				
歩掛表使用ケース	耐震診断(詳細診断)	耐震補強工事の実施設計																																				
標準的な手順	基本歩掛(第3表)	基本歩掛(第4表)																																				
耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	基本歩掛(第3表)	—																																				
耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	—	基本歩掛(第4表)																																				
高度な解析(静的非線形解析)	第8-1表による補正	第8-2表による補正																																				
3次元効果	第9表による補正	第9表による補正																																				
高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算																																				

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）								
P290	<p>第2表 配水池耐震診断(詳細診断)・耐震補強工事の実施設計適用対象主要施設</p> <table border="1" data-bbox="350 390 1222 514"> <tr> <th>施設名</th> <th>土木</th> </tr> <tr> <td>配水池 ・ 調整池</td> <td>躯体構造の補強 耐震補強に伴う壁埋め込み管(流入、流出、オーバーフロー管、排水管) 及び人孔の移設</td> </tr> </table> <p>基本歩掛は標準的なものであり、4-2-1で示した委託内容及び以下に示す項目について別途積算計上する。                      (イ) 法規による各種の指定等の解除、または公共用地占用等のための申請ならびに申請書作成業務                      (ロ) 既設構造物の取りこわしの設計                      (ハ) 分割施工の場合                      (ニ) 上部利用施設のある場合                      (ホ) 構造物の劣化状況を把握するための各種試験及び劣化目視調査                      (ヘ) 2次元静的非線形解析、3次元静的解析、動的解析、FEM解析等の高度な解析                      (ト) 日影図、模型の作成がある場合</p>	施設名	土木	配水池 ・ 調整池	躯体構造の補強 耐震補強に伴う壁埋め込み管(流入、流出、オーバーフロー管、排水管) 及び人孔の移設	<p>第2表 配水池耐震診断(詳細診断)・耐震補強工事の実施設計適用対象主要施設</p> <table border="1" data-bbox="1558 390 2430 514"> <tr> <th>施設名</th> <th>土木</th> </tr> <tr> <td>配水池 ・ 調整池</td> <td>躯体構造の補強 耐震補強に伴う壁埋め込み管(流入、流出、オーバーフロー管、排水管) 及び人孔の移設</td> </tr> </table> <p>基本歩掛は標準的なものであり、4-2-1で示した委託内容及び以下に示す項目について別途積算計上する。                      (イ) 法規による各種の指定等の解除、または公共用地占用等のための申請ならびに申請書作成業務                      (ロ) 既設構造物の取りこわしの設計                      (ハ) 分割施工の場合                      (ニ) 上部利用施設のある場合                      (ホ) 構造物の劣化状況を把握するための各種試験及び劣化目視調査                      (ヘ) 3次元静的解析、動的解析、FEM解析等の高度な解析                      (ト) 日影図、模型の作成がある場合</p>	施設名	土木	配水池 ・ 調整池	躯体構造の補強 耐震補強に伴う壁埋め込み管(流入、流出、オーバーフロー管、排水管) 及び人孔の移設
施設名	土木									
配水池 ・ 調整池	躯体構造の補強 耐震補強に伴う壁埋め込み管(流入、流出、オーバーフロー管、排水管) 及び人孔の移設									
施設名	土木									
配水池 ・ 調整池	躯体構造の補強 耐震補強に伴う壁埋め込み管(流入、流出、オーバーフロー管、排水管) 及び人孔の移設									
P291	<p>4-2-2-1 耐震診断(詳細診断) 第3-1表 RC配水池耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。                      2. 作業項目の診断条件整理は、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むものとし、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとする。ただし、方法1による場合は、別途計上する。                      3. 作業項目の耐震診断評価における解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。                      4. 劣化対策検討とは、構造物調査等により発見された、ひび割れ、鉄筋露出、コンクリート剥離等の劣化部補修方法の検討作業である。</p>	<p>4-2-2-1 耐震診断(詳細診断) 第3-1表 RC配水池耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。                      2. 作業項目の診断条件整理は、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むものとし、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。また、作業項目の耐震診断評価、対策後の構造解析及び照査は簡易な解析手法(静的線形解析)とする。                      3. 高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、作業項目の診断条件整理は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、耐震診断評価、対策後の構造解析及び照査に第8-1表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。                      4. 作業項目の耐震診断評価、対策後の構造解析で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、耐震診断評価、対策後の構造解析に第9表の補正係数を乗じた値を追加する。                      5. 劣化対策検討とは、構造物調査等により、ひび割れ、鉄筋露出、コンクリート剥離等の劣化部補修方法の検討作業である。</p>								
P292	<p>第3-2表 PC配水池耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。                      2. 作業項目の診断条件整理は、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むものとし、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとする。ただし、方法1による場合は、別途計上する。                      3. 作業項目の耐震診断評価における解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。                      4. 劣化対策検討とは、構造物調査等により発見された、ひび割れ、鉄筋露出、コンクリート剥離等の劣化部補修方法の検討作業である。</p>	<p>第3-2表 PC配水池耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。                      2. 作業項目の診断条件整理は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。                      3. 作業項目の耐震診断評価、対策後の構造解析及び照査は簡易な解析方法(静的線形解析)とし、他の解析手法や地震動の設定において方法1～3による場合は、別途計上する。                      4. 劣化対策検討とは、構造物調査等により、ひび割れ、鉄筋露出、コンクリート剥離等の劣化部補修方法の検討作業である。</p>								

## 令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）
P292	<p>第3-3表 鋼製配水池耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の診断条件整理は、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むものとし、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとする。ただし、方法1による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の耐震診断評価における解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 4. 劣化対策検討とは、構造物調査等により発見された、ひび割れ、鉄筋露出、コンクリート剥離等の劣化部補修方法の検討作業である。</p>	<p>第3-3表 鋼製配水池耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の診断条件整理は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。 3. 作業項目の耐震診断評価、対策後の構造解析及び照査は簡易な解析方法(静的線形解析)とし、他の解析手法や地震動の設定において方法1～3による場合は、別途計上する。 4. 劣化対策検討とは、構造物調査等により、ひび割れ、鉄筋露出、コンクリート剥離等の劣化部補修方法の検討作業である。</p>
P293	<p>4-2-2-2 耐震補強工事の実施設計 第4-1表 RC配水池耐震補強工事の実施設計基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(機能)は、補強後の水理計算、設備計算、仮設計算等である。 4. 補強方法は、壁・スラブ・柱の増打、耐震壁の増設等による躯体構造の補強を対象とする。</p>	<p>4-2-2-2 耐震補強工事の実施設計 第4-1表 RC配水池耐震補強工事の実施設計基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、簡易な設計手法(静的線形解析)で行うものとし、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。 3. 高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査に第8-2表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。 4. 計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。 5. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 6. 補強方法は、壁・スラブ・柱の増打、耐震壁の増設等による躯体構造の補強を対象とする。</p>
P293	<p>第4-2表 PC配水池耐震補強工事の実施設計基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(機能)は、補強後の水理計算、設備計算、仮設計算等である。 4. 補強方法は、コンクリート増打、アンカーバーの設置、炭素繊維シートの張り付け等による躯体構造の補強を対象とする。</p>	<p>第4-2表 PC配水池耐震補強工事の実施設計基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、簡易な設計手法(静的線形解析)で行うものとし、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。ただし、他の解析手法や地震動の設定において方法1～3による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 4. 補強方法は、コンクリート増打、アンカーバーの設置、炭素繊維シートの貼り付け等による躯体構造の補強を対象とする。</p>
P294	<p>第4-3表 鋼製配水池耐震補強工事の実施設計基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとし、方法1による場合は、別途計上する。解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(機能)は、補強後の水理計算、設備計算、仮設計算等である。 4. 補強方法は、鉄板等の鋼材張り付け等による躯体構造の補強を対象とする。</p>	<p>第4-3表 鋼製配水池耐震補強工事の実施設計基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、簡易な設計手法(静的線形解析)で行うものとし、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。ただし、他の解析手法や地震動の設定において方法1～3による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、容量計算、設備計算、仮設計算等である。 4. 補強方法は、鋼板等の鋼材貼り付け等による躯体構造の補強を対象とする。</p>

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																																																																																																				
P295	<新規>	<p>4-2-2-6 耐震補強設計(配水池)における2次元静的非線形解析に係る補正 第8-1表 RC配水池耐震診断(詳細診断)における2次元静的非線形解析に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1558 415 2151 661"> <thead> <tr> <th colspan="2">作業項目</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">耐震診断評価</td> <td>解析モデル作成</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>耐震診断</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>耐震性能の照査</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>総合評価</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>対策案の検討</td> <td>対策後の構造解析</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">照査</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) RC配水池容量2,000m<sup>3</sup>の2次元静的非線形解析における積算 条件：掘削深度に係る補正、地盤に係る補正なし</p> <p>耐震診断評価・対策後の構造解析・照査の積算(例) 第3-1表より (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1558 793 2733 1016"> <thead> <tr> <th rowspan="2">積算(例)</th> <th rowspan="2">作業項目</th> <th colspan="6">技師</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">耐震診断評価</td> <td>解析モデル作成</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>1.4</td> <td>2.8</td> <td>2.5</td> <td>1.1</td> <td>8.4</td> <td>基本歩掛人工×2.1×1.33</td> </tr> <tr> <td>耐震診断</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>3.2</td> <td>5.3</td> <td>5.0</td> <td>3.2</td> <td>18.2</td> <td>基本歩掛人工×2.2×1.33</td> </tr> <tr> <td>耐震性能の照査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>1.5</td> <td>2.9</td> <td>2.6</td> <td>1.2</td> <td>8.8</td> <td>基本歩掛人工×2.2×1.33</td> </tr> <tr> <td>総合評価</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>1.0</td> <td>1.9</td> <td>1.6</td> <td>1.0</td> <td>6.1</td> <td>基本歩掛人工×2.4×1.33</td> </tr> <tr> <td>対策案の検討</td> <td>対策後の構造解析</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>2.2</td> <td>3.5</td> <td>3.2</td> <td>2.2</td> <td>11.7</td> <td>基本歩掛人工×2.4×1.33</td> </tr> <tr> <td></td> <td>照査</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.8</td> <td>基本歩掛人工×1.2×1.33</td> </tr> </tbody> </table> <p>算定人工=基本歩掛人工×2次元静的線形解析に対する比率×容量補正</p> <p>第8-2表 RC配水池耐震補強工事の実施設計における2次元静的非線形解析の補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1558 1129 1991 1234"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計算(構造)</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>審査</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) RC配水池容量2,000m<sup>3</sup>の2次元静的非線形解析における積算 条件：掘削深度に係る補正、地盤に係る補正なし</p> <p>耐震補強設計 計算(構造)・審査の積算(例) 第4-1表より (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1558 1373 2709 1482"> <thead> <tr> <th rowspan="2">積算(例)</th> <th rowspan="2">作業項目</th> <th colspan="6">技師</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">計算(構造)</td> <td>計算(構造)</td> <td></td> <td>3.4</td> <td>6.9</td> <td>12.2</td> <td>11.0</td> <td>6.2</td> <td>39.7</td> <td>基本歩掛人工×1.8×1.33</td> </tr> <tr> <td>審査</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> <td>基本歩掛人工×1.2×1.33</td> </tr> </tbody> </table> <p>算定人工=基本歩掛人工×2次元静的線形解析に対する比率×容量補正</p>	作業項目		補正係数	耐震診断評価	解析モデル作成	2.1	耐震診断	2.2	耐震性能の照査	2.2	総合評価	2.4	対策案の検討	対策後の構造解析	2.4	照査		1.2	積算(例)	作業項目	技師						計	備考	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	耐震診断評価	解析モデル作成		0.6	1.4	2.8	2.5	1.1	8.4	基本歩掛人工×2.1×1.33	耐震診断		1.5	3.2	5.3	5.0	3.2	18.2	基本歩掛人工×2.2×1.33	耐震性能の照査		0.6	1.5	2.9	2.6	1.2	8.8	基本歩掛人工×2.2×1.33	総合評価		0.6	1.0	1.9	1.6	1.0	6.1	基本歩掛人工×2.4×1.33	対策案の検討	対策後の構造解析		0.6	2.2	3.5	3.2	2.2	11.7	基本歩掛人工×2.4×1.33		照査	0.8	1.0					1.8	基本歩掛人工×1.2×1.33	作業項目	補正係数	計算(構造)	1.8	審査	1.2	積算(例)	作業項目	技師						計	備考	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計算(構造)	計算(構造)		3.4	6.9	12.2	11.0	6.2	39.7	基本歩掛人工×1.8×1.33	審査	0.6	0.8					1.4	基本歩掛人工×1.2×1.33
作業項目		補正係数																																																																																																																																				
耐震診断評価	解析モデル作成	2.1																																																																																																																																				
	耐震診断	2.2																																																																																																																																				
	耐震性能の照査	2.2																																																																																																																																				
	総合評価	2.4																																																																																																																																				
対策案の検討	対策後の構造解析	2.4																																																																																																																																				
照査		1.2																																																																																																																																				
積算(例)	作業項目	技師						計	備考																																																																																																																													
		技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																															
耐震診断評価	解析モデル作成		0.6	1.4	2.8	2.5	1.1	8.4	基本歩掛人工×2.1×1.33																																																																																																																													
	耐震診断		1.5	3.2	5.3	5.0	3.2	18.2	基本歩掛人工×2.2×1.33																																																																																																																													
	耐震性能の照査		0.6	1.5	2.9	2.6	1.2	8.8	基本歩掛人工×2.2×1.33																																																																																																																													
	総合評価		0.6	1.0	1.9	1.6	1.0	6.1	基本歩掛人工×2.4×1.33																																																																																																																													
対策案の検討	対策後の構造解析		0.6	2.2	3.5	3.2	2.2	11.7	基本歩掛人工×2.4×1.33																																																																																																																													
	照査	0.8	1.0					1.8	基本歩掛人工×1.2×1.33																																																																																																																													
作業項目	補正係数																																																																																																																																					
計算(構造)	1.8																																																																																																																																					
審査	1.2																																																																																																																																					
積算(例)	作業項目	技師						計	備考																																																																																																																													
		技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																															
計算(構造)	計算(構造)		3.4	6.9	12.2	11.0	6.2	39.7	基本歩掛人工×1.8×1.33																																																																																																																													
	審査	0.6	0.8					1.4	基本歩掛人工×1.2×1.33																																																																																																																													



令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
P295	<p>&lt;新規&gt;</p>	<p>4-2-2-7 RC配水池3次元効果に係る補正 第9表 3次元効果に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1558 420 2205 525"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>補正係数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震診断評価</td> <td>0.9</td> <td>耐震診断</td> </tr> <tr> <td>計算(構造)</td> <td>0.6</td> <td>耐震補強工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) RC配水池容量2,000m<sup>3</sup>の3次元効果における積算 条件：掘削深度に係る補正、地盤に係る補正なし</p> <p>3次元効果の考慮の積算(例) 第3-1, 4-1表より (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1558 667 2724 844"> <thead> <tr> <th rowspan="2">積算(例)</th> <th>作業項目</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震診断評価 ～追加</td> <td></td> <td></td> <td>1.3</td> <td>2.9</td> <td>5.3</td> <td>4.8</td> <td>2.6</td> <td>16.9</td> <td>基本歩掛人工×0.9×1.33</td> </tr> <tr> <td>計算(構造)～追加</td> <td></td> <td></td> <td>1.1</td> <td>2.3</td> <td>4.1</td> <td>3.7</td> <td>2.1</td> <td>13.3</td> <td>基本歩掛人工×0.6×1.33</td> </tr> </tbody> </table> <p>算定人工=基本歩掛人工×2次元静的線形解析に対する比率×容量補正</p>	作業項目	補正係数	備考	耐震診断評価	0.9	耐震診断	計算(構造)	0.6	耐震補強工事	積算(例)	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考	耐震診断評価 ～追加			1.3	2.9	5.3	4.8	2.6	16.9	基本歩掛人工×0.9×1.33	計算(構造)～追加			1.1	2.3	4.1	3.7	2.1	13.3	基本歩掛人工×0.6×1.33																																																																																																																																																																																																																																																																																					
作業項目	補正係数	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
耐震診断評価	0.9	耐震診断																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
計算(構造)	0.6	耐震補強工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
積算(例)	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	耐震診断評価 ～追加			1.3	2.9	5.3	4.8	2.6	16.9	基本歩掛人工×0.9×1.33																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
計算(構造)～追加			1.1	2.3	4.1	3.7	2.1	13.3	基本歩掛人工×0.6×1.33																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
P295	<p>4-2-3 補正 総補正率は、4-2-3-1～4-2-3-2の各補正係数を乗ずるものとする。 4-2-3-1 設計対象容量に係る補正 補正対象は耐震診断においては、設計協議及び現地調査を除く項目、耐震補強工事においては、設計協議、現地調査及び既存資料調査を除く項目とする。 第8表 設計対象容量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="350 1075 1531 1749"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配水池有効容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="3">補正係数</th> <th rowspan="2">配水池有効容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="3">補正係数</th> </tr> <tr> <th>RC造</th> <th>PC造</th> <th>鋼製</th> <th>RC造</th> <th>PC造</th> <th>鋼製</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50 以下</td><td>0.29</td><td>0.54</td><td>0.66</td><td>6,001 ～ 7,000 迄</td><td>2.27</td><td>1.98</td><td>1.60</td></tr> <tr><td>51 ～ 100 迄</td><td>0.38</td><td>0.59</td><td>0.69</td><td>7,001 ～ 8,000 "</td><td>2.41</td><td>2.07</td><td>1.67</td></tr> <tr><td>101 ～ 200 "</td><td>0.51</td><td>0.64</td><td>0.73</td><td>8,001 ～ 9,000 "</td><td>2.52</td><td>2.16</td><td>1.70</td></tr> <tr><td>201 ～ 300 "</td><td>0.60</td><td>0.69</td><td>0.77</td><td>9,001 ～ 10,000 "</td><td>2.65</td><td>2.25</td><td>1.74</td></tr> <tr><td>301 ～ 400 "</td><td>0.68</td><td>0.74</td><td>0.81</td><td>10,001 ～ 12,000 "</td><td>2.86</td><td>2.39</td><td>1.82</td></tr> <tr><td>401 ～ 500 "</td><td>0.75</td><td>0.79</td><td>0.85</td><td>12,001 ～ 14,000 "</td><td>3.05</td><td>2.52</td><td>1.89</td></tr> <tr><td>501 ～ 600 "</td><td>0.81</td><td>0.84</td><td>0.88</td><td>14,001 ～ 16,000 "</td><td>3.22</td><td>2.64</td><td>1.95</td></tr> <tr><td>601 ～ 700 "</td><td>0.86</td><td>0.89</td><td>0.92</td><td>16,001 ～ 18,000 "</td><td>3.38</td><td>2.74</td><td>2.01</td></tr> <tr><td>701 ～ 800 "</td><td>0.90</td><td>0.93</td><td>0.95</td><td>18,001 ～ 20,000 "</td><td>3.56</td><td>2.85</td><td>2.06</td></tr> <tr><td>801 ～ 900 "</td><td>0.95</td><td>0.97</td><td>0.97</td><td>20,001 ～ 22,000 "</td><td>3.70</td><td>2.96</td><td>2.10</td></tr> <tr><td>901 ～ 1,000 "</td><td>1.00</td><td>1.00</td><td>1.00</td><td>22,001 ～ 24,000 "</td><td>3.84</td><td>3.04</td><td>2.15</td></tr> <tr><td>1,001 ～ 1,500 "</td><td>1.19</td><td>1.16</td><td>1.10</td><td>24,001 ～ 26,000 "</td><td>3.96</td><td>3.12</td><td>2.19</td></tr> <tr><td>1,501 ～ 2,000 "</td><td>1.33</td><td>1.28</td><td>1.18</td><td>26,001 ～ 28,000 "</td><td>4.09</td><td>3.21</td><td>2.23</td></tr> <tr><td>2,001 ～ 2,500 "</td><td>1.48</td><td>1.37</td><td>1.25</td><td>28,001 ～ 30,000 "</td><td>4.22</td><td>3.28</td><td>2.27</td></tr> <tr><td>2,501 ～ 3,000 "</td><td>1.59</td><td>1.46</td><td>1.30</td><td>30,001 ～ 35,000 "</td><td>4.48</td><td>3.46</td><td>2.35</td></tr> <tr><td>3,001 ～ 4,000 "</td><td>1.79</td><td>1.62</td><td>1.40</td><td>35,001 ～ 40,000 "</td><td>4.74</td><td>3.63</td><td>2.43</td></tr> <tr><td>4,001 ～ 5,000 "</td><td>1.96</td><td>1.76</td><td>1.47</td><td>40,001 ～ 45,000 "</td><td>4.98</td><td>3.78</td><td>2.50</td></tr> <tr><td>5,001 ～ 6,000 "</td><td>2.13</td><td>1.88</td><td>1.54</td><td>45,001 ～ 50,000 "</td><td>5.21</td><td>3.92</td><td>2.57</td></tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 配水池の容量は、耐震診断評価及び計算(構造)を行う構造単位ごとに設定する。 2. 形状の異なる配水池を複数実施する場合は構造単位ごとに設定する。 3. 配水池有効容量が50,000m<sup>3</sup>を超える場合は、別途考慮する。</p>	配水池有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数			配水池有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数			RC造	PC造	鋼製	RC造	PC造	鋼製	50 以下	0.29	0.54	0.66	6,001 ～ 7,000 迄	2.27	1.98	1.60	51 ～ 100 迄	0.38	0.59	0.69	7,001 ～ 8,000 "	2.41	2.07	1.67	101 ～ 200 "	0.51	0.64	0.73	8,001 ～ 9,000 "	2.52	2.16	1.70	201 ～ 300 "	0.60	0.69	0.77	9,001 ～ 10,000 "	2.65	2.25	1.74	301 ～ 400 "	0.68	0.74	0.81	10,001 ～ 12,000 "	2.86	2.39	1.82	401 ～ 500 "	0.75	0.79	0.85	12,001 ～ 14,000 "	3.05	2.52	1.89	501 ～ 600 "	0.81	0.84	0.88	14,001 ～ 16,000 "	3.22	2.64	1.95	601 ～ 700 "	0.86	0.89	0.92	16,001 ～ 18,000 "	3.38	2.74	2.01	701 ～ 800 "	0.90	0.93	0.95	18,001 ～ 20,000 "	3.56	2.85	2.06	801 ～ 900 "	0.95	0.97	0.97	20,001 ～ 22,000 "	3.70	2.96	2.10	901 ～ 1,000 "	1.00	1.00	1.00	22,001 ～ 24,000 "	3.84	3.04	2.15	1,001 ～ 1,500 "	1.19	1.16	1.10	24,001 ～ 26,000 "	3.96	3.12	2.19	1,501 ～ 2,000 "	1.33	1.28	1.18	26,001 ～ 28,000 "	4.09	3.21	2.23	2,001 ～ 2,500 "	1.48	1.37	1.25	28,001 ～ 30,000 "	4.22	3.28	2.27	2,501 ～ 3,000 "	1.59	1.46	1.30	30,001 ～ 35,000 "	4.48	3.46	2.35	3,001 ～ 4,000 "	1.79	1.62	1.40	35,001 ～ 40,000 "	4.74	3.63	2.43	4,001 ～ 5,000 "	1.96	1.76	1.47	40,001 ～ 45,000 "	4.98	3.78	2.50	5,001 ～ 6,000 "	2.13	1.88	1.54	45,001 ～ 50,000 "	5.21	3.92	2.57	<p>4-2-3 補正 総補正率は4-2-3-1～4-2-3-4の各補正係数を乗ずるものとする。 4-2-3-1 設計対象容量に係る補正 補正対象は耐震診断においては、設計協議及び現地調査を除く項目、耐震補強工事においては、設計協議、現地調査及び既存資料調査を除く項目とする。 第10表 設計対象容量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1558 1075 2739 1749"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配水池有効容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="3">補正係数</th> <th rowspan="2">配水池有効容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="3">補正係数</th> </tr> <tr> <th>RC造</th> <th>PC造</th> <th>鋼製</th> <th>RC造</th> <th>PC造</th> <th>鋼製</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50 以下</td><td>0.29</td><td>0.54</td><td>0.66</td><td>6,001 ～ 7,000 迄</td><td>2.27</td><td>1.98</td><td>1.60</td></tr> <tr><td>51 ～ 100 迄</td><td>0.38</td><td>0.59</td><td>0.69</td><td>7,001 ～ 8,000 "</td><td>2.41</td><td>2.07</td><td>1.67</td></tr> <tr><td>101 ～ 200 "</td><td>0.51</td><td>0.64</td><td>0.73</td><td>8,001 ～ 9,000 "</td><td>2.52</td><td>2.16</td><td>1.70</td></tr> <tr><td>201 ～ 300 "</td><td>0.60</td><td>0.69</td><td>0.77</td><td>9,001 ～ 10,000 "</td><td>2.65</td><td>2.25</td><td>1.74</td></tr> <tr><td>301 ～ 400 "</td><td>0.68</td><td>0.74</td><td>0.81</td><td>10,001 ～ 12,000 "</td><td>2.86</td><td>2.39</td><td>1.82</td></tr> <tr><td>401 ～ 500 "</td><td>0.75</td><td>0.79</td><td>0.85</td><td>12,001 ～ 14,000 "</td><td>3.05</td><td>2.52</td><td>1.89</td></tr> <tr><td>501 ～ 600 "</td><td>0.81</td><td>0.84</td><td>0.88</td><td>14,001 ～ 16,000 "</td><td>3.22</td><td>2.64</td><td>1.95</td></tr> <tr><td>601 ～ 700 "</td><td>0.86</td><td>0.89</td><td>0.92</td><td>16,001 ～ 18,000 "</td><td>3.38</td><td>2.74</td><td>2.01</td></tr> <tr><td>701 ～ 800 "</td><td>0.90</td><td>0.93</td><td>0.95</td><td>18,001 ～ 20,000 "</td><td>3.56</td><td>2.85</td><td>2.06</td></tr> <tr><td>801 ～ 900 "</td><td>0.95</td><td>0.97</td><td>0.97</td><td>20,001 ～ 22,000 "</td><td>3.70</td><td>2.96</td><td>2.10</td></tr> <tr><td>901 ～ 1,000 "</td><td>1.00</td><td>1.00</td><td>1.00</td><td>22,001 ～ 24,000 "</td><td>3.84</td><td>3.04</td><td>2.15</td></tr> <tr><td>1,001 ～ 1,500 "</td><td>1.19</td><td>1.16</td><td>1.10</td><td>24,001 ～ 26,000 "</td><td>3.96</td><td>3.12</td><td>2.19</td></tr> <tr><td>1,501 ～ 2,000 "</td><td>1.33</td><td>1.28</td><td>1.18</td><td>26,001 ～ 28,000 "</td><td>4.09</td><td>3.21</td><td>2.23</td></tr> <tr><td>2,001 ～ 2,500 "</td><td>1.48</td><td>1.37</td><td>1.25</td><td>28,001 ～ 30,000 "</td><td>4.22</td><td>3.28</td><td>2.27</td></tr> <tr><td>2,501 ～ 3,000 "</td><td>1.59</td><td>1.46</td><td>1.30</td><td>30,001 ～ 35,000 "</td><td>4.48</td><td>3.46</td><td>2.35</td></tr> <tr><td>3,001 ～ 4,000 "</td><td>1.79</td><td>1.62</td><td>1.40</td><td>35,001 ～ 40,000 "</td><td>4.74</td><td>3.63</td><td>2.43</td></tr> <tr><td>4,001 ～ 5,000 "</td><td>1.96</td><td>1.76</td><td>1.47</td><td>40,001 ～ 45,000 "</td><td>4.98</td><td>3.78</td><td>2.50</td></tr> <tr><td>5,001 ～ 6,000 "</td><td>2.13</td><td>1.88</td><td>1.54</td><td>45,001 ～ 50,000 "</td><td>5.21</td><td>3.92</td><td>2.57</td></tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 配水池の容量は、耐震診断評価及び計算(構造)を行う構造単位ごとに設定する。 2. 形状の異なる配水池を複数実施する場合は構造単位ごとに設定する。 3. 配水池有効容量が50,000m<sup>3</sup>を超える場合は、別途考慮する。</p>	配水池有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数			配水池有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数			RC造	PC造	鋼製	RC造	PC造	鋼製	50 以下	0.29	0.54	0.66	6,001 ～ 7,000 迄	2.27	1.98	1.60	51 ～ 100 迄	0.38	0.59	0.69	7,001 ～ 8,000 "	2.41	2.07	1.67	101 ～ 200 "	0.51	0.64	0.73	8,001 ～ 9,000 "	2.52	2.16	1.70	201 ～ 300 "	0.60	0.69	0.77	9,001 ～ 10,000 "	2.65	2.25	1.74	301 ～ 400 "	0.68	0.74	0.81	10,001 ～ 12,000 "	2.86	2.39	1.82	401 ～ 500 "	0.75	0.79	0.85	12,001 ～ 14,000 "	3.05	2.52	1.89	501 ～ 600 "	0.81	0.84	0.88	14,001 ～ 16,000 "	3.22	2.64	1.95	601 ～ 700 "	0.86	0.89	0.92	16,001 ～ 18,000 "	3.38	2.74	2.01	701 ～ 800 "	0.90	0.93	0.95	18,001 ～ 20,000 "	3.56	2.85	2.06	801 ～ 900 "	0.95	0.97	0.97	20,001 ～ 22,000 "	3.70	2.96	2.10	901 ～ 1,000 "	1.00	1.00	1.00	22,001 ～ 24,000 "	3.84	3.04	2.15	1,001 ～ 1,500 "	1.19	1.16	1.10	24,001 ～ 26,000 "	3.96	3.12	2.19	1,501 ～ 2,000 "	1.33	1.28	1.18	26,001 ～ 28,000 "	4.09	3.21	2.23	2,001 ～ 2,500 "	1.48	1.37	1.25	28,001 ～ 30,000 "	4.22	3.28	2.27	2,501 ～ 3,000 "	1.59	1.46	1.30	30,001 ～ 35,000 "	4.48	3.46	2.35	3,001 ～ 4,000 "	1.79	1.62	1.40	35,001 ～ 40,000 "	4.74	3.63	2.43	4,001 ～ 5,000 "	1.96	1.76	1.47	40,001 ～ 45,000 "	4.98	3.78	2.50	5,001 ～ 6,000 "	2.13	1.88	1.54	45,001 ～ 50,000 "	5.21	3.92	2.57
配水池有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数			配水池有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RC造	PC造	鋼製		RC造	PC造	鋼製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
50 以下	0.29	0.54	0.66	6,001 ～ 7,000 迄	2.27	1.98	1.60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
51 ～ 100 迄	0.38	0.59	0.69	7,001 ～ 8,000 "	2.41	2.07	1.67																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
101 ～ 200 "	0.51	0.64	0.73	8,001 ～ 9,000 "	2.52	2.16	1.70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
201 ～ 300 "	0.60	0.69	0.77	9,001 ～ 10,000 "	2.65	2.25	1.74																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
301 ～ 400 "	0.68	0.74	0.81	10,001 ～ 12,000 "	2.86	2.39	1.82																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
401 ～ 500 "	0.75	0.79	0.85	12,001 ～ 14,000 "	3.05	2.52	1.89																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
501 ～ 600 "	0.81	0.84	0.88	14,001 ～ 16,000 "	3.22	2.64	1.95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
601 ～ 700 "	0.86	0.89	0.92	16,001 ～ 18,000 "	3.38	2.74	2.01																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
701 ～ 800 "	0.90	0.93	0.95	18,001 ～ 20,000 "	3.56	2.85	2.06																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
801 ～ 900 "	0.95	0.97	0.97	20,001 ～ 22,000 "	3.70	2.96	2.10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
901 ～ 1,000 "	1.00	1.00	1.00	22,001 ～ 24,000 "	3.84	3.04	2.15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1,001 ～ 1,500 "	1.19	1.16	1.10	24,001 ～ 26,000 "	3.96	3.12	2.19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1,501 ～ 2,000 "	1.33	1.28	1.18	26,001 ～ 28,000 "	4.09	3.21	2.23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2,001 ～ 2,500 "	1.48	1.37	1.25	28,001 ～ 30,000 "	4.22	3.28	2.27																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2,501 ～ 3,000 "	1.59	1.46	1.30	30,001 ～ 35,000 "	4.48	3.46	2.35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3,001 ～ 4,000 "	1.79	1.62	1.40	35,001 ～ 40,000 "	4.74	3.63	2.43																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
4,001 ～ 5,000 "	1.96	1.76	1.47	40,001 ～ 45,000 "	4.98	3.78	2.50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
5,001 ～ 6,000 "	2.13	1.88	1.54	45,001 ～ 50,000 "	5.21	3.92	2.57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
配水池有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数			配水池有効容量 (m <sup>3</sup> )	補正係数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RC造	PC造	鋼製		RC造	PC造	鋼製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
50 以下	0.29	0.54	0.66	6,001 ～ 7,000 迄	2.27	1.98	1.60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
51 ～ 100 迄	0.38	0.59	0.69	7,001 ～ 8,000 "	2.41	2.07	1.67																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
101 ～ 200 "	0.51	0.64	0.73	8,001 ～ 9,000 "	2.52	2.16	1.70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
201 ～ 300 "	0.60	0.69	0.77	9,001 ～ 10,000 "	2.65	2.25	1.74																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
301 ～ 400 "	0.68	0.74	0.81	10,001 ～ 12,000 "	2.86	2.39	1.82																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
401 ～ 500 "	0.75	0.79	0.85	12,001 ～ 14,000 "	3.05	2.52	1.89																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
501 ～ 600 "	0.81	0.84	0.88	14,001 ～ 16,000 "	3.22	2.64	1.95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
601 ～ 700 "	0.86	0.89	0.92	16,001 ～ 18,000 "	3.38	2.74	2.01																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
701 ～ 800 "	0.90	0.93	0.95	18,001 ～ 20,000 "	3.56	2.85	2.06																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
801 ～ 900 "	0.95	0.97	0.97	20,001 ～ 22,000 "	3.70	2.96	2.10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
901 ～ 1,000 "	1.00	1.00	1.00	22,001 ～ 24,000 "	3.84	3.04	2.15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1,001 ～ 1,500 "	1.19	1.16	1.10	24,001 ～ 26,000 "	3.96	3.12	2.19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1,501 ～ 2,000 "	1.33	1.28	1.18	26,001 ～ 28,000 "	4.09	3.21	2.23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2,001 ～ 2,500 "	1.48	1.37	1.25	28,001 ～ 30,000 "	4.22	3.28	2.27																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2,501 ～ 3,000 "	1.59	1.46	1.30	30,001 ～ 35,000 "	4.48	3.46	2.35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3,001 ～ 4,000 "	1.79	1.62	1.40	35,001 ～ 40,000 "	4.74	3.63	2.43																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
4,001 ～ 5,000 "	1.96	1.76	1.47	40,001 ～ 45,000 "	4.98	3.78	2.50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
5,001 ～ 6,000 "	2.13	1.88	1.54	45,001 ～ 50,000 "	5.21	3.92	2.57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																				
P296	<p>4-3-1 適用範囲 この積算歩掛は、浄水場土木施設のうち標準的な既存鉄筋コンクリート造に係る耐震診断(詳細診断)業務を委託する場合に適用する。 耐震補強工事を行うためには、耐震診断(詳細診断)を行い、既存施設の耐震性の程度を把握し、耐震性能を満足しているかどうかの判断を行う。その後、施設の更新を含めた耐震化対策の検討を経た上で、耐震補強工事の設計を行う手順となる。 本設計歩掛では、耐震診断(詳細診断)の基本歩掛について示した。</p> <p>第1表 耐震診断(詳細診断)における歩掛使用ケース</p> <table border="1" data-bbox="350 625 1466 869"> <thead> <tr> <th>歩掛表使用ケース</th> <th>耐震診断(詳細診断)</th> <th>耐震補強工事の実施設計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準的な手順</td> <td>基本歩掛(第3表)</td> <td>別途積算(第4章第4節参照)</td> </tr> <tr> <td>耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)</td> <td>基本歩掛(第3表)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)</td> <td>—</td> <td>別途積算(第4章第4節参照)</td> </tr> <tr> <td>高度な解析(動的解析等)を実施する場合</td> <td>別途積算</td> <td>別途積算</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、耐震診断(詳細診断)の結果、施設を新設する場合は、浄水場施設設計歩掛を適用するものとする。 また、次に示す診断・設計業務については別途積算計上する。 (ア) 既存施設が他の施設(公民館等)と一体となっている複合施設 (イ) 耐震化に伴う既存施設の撤去及び浄水場施設の新設 (ウ) 自家発電機設備、制御設備、塩素注入設備及びそれらの建築施設 (エ) 補強工事に伴う大規模な工事用の取付道路及び造成等 (オ) 事業計画(認可設計)に係る業務 (カ) 連続地中壁の本体利用 (キ) その他、第2表に定められていない施設 (ク) 開発行為諸手続</p>	歩掛表使用ケース	耐震診断(詳細診断)	耐震補強工事の実施設計	標準的な手順	基本歩掛(第3表)	別途積算(第4章第4節参照)	耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	基本歩掛(第3表)	—	耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	—	別途積算(第4章第4節参照)	高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算	<p>4-3-1 適用範囲 この積算歩掛は、浄水場土木施設のうち標準的な既存鉄筋コンクリート造に係る耐震診断(詳細診断)業務を委託する場合に適用する。 耐震補強工事を行うためには、耐震診断(詳細診断)を行い、既存施設の耐震性の程度を把握し、耐震性能を満足しているかどうかの判断を行う。その後、施設の更新を含めた耐震化対策の検討を経た上で、耐震補強工事の設計を行う手順となる。 本設計歩掛では、耐震診断(詳細診断)の基本歩掛について示した。</p> <p>第1表 耐震診断(詳細診断)における歩掛表仕様ケース</p> <table border="1" data-bbox="1561 625 2677 940"> <thead> <tr> <th>歩掛表使用ケース</th> <th>耐震診断(詳細診断)</th> <th>耐震補強工事の実施設計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準的な手順</td> <td>基本歩掛(第3表)</td> <td>別途積算(第4章第4節参照)</td> </tr> <tr> <td>耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)</td> <td>基本歩掛(第3表)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)</td> <td>—</td> <td>別途積算(第4章第4節参照)</td> </tr> <tr> <td>高度な解析(2次元静的非線形解析)</td> <td>第8表による補正</td> <td>別途積算(第4章第4節参照)</td> </tr> <tr> <td>3次元効果</td> <td>第9表による補正</td> <td>別途積算(第4章第4節参照)</td> </tr> <tr> <td>高度な解析(動的解析等)を実施する場合</td> <td>別途積算</td> <td>別途積算</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、耐震診断(詳細診断)の結果、施設を新設する場合は、浄水場施設設計歩掛を適用するものとする。 また、次に示す診断・設計業務については別途積算計上する。 (ア) 既存施設が他の施設(公民館等)と一体となっている複合施設 (イ) 耐震化に伴う既存施設の撤去及び浄水場施設の新設 (ウ) 自家発電機設備、制御設備、塩素注入設備及びそれらの建築施設 (エ) 補強工事に伴う大規模な工事用の取付道路及び造成等 (オ) 事業計画(認可設計)に係る業務 (カ) 連続地中壁の本体利用 (キ) その他、第2表に定められていない施設 (ク) 開発行為諸手続 (ケ) 水道施設の危機耐性に係る検討 (コ) 浄水施設・排水施設を階層化した施設または水道施設耐震工法指針・解説2022年版に示す水槽付建築物 (サ) 浄水施設・排水施設の屋根及び覆蓋</p>	歩掛表使用ケース	耐震診断(詳細診断)	耐震補強工事の実施設計	標準的な手順	基本歩掛(第3表)	別途積算(第4章第4節参照)	耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	基本歩掛(第3表)	—	耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	—	別途積算(第4章第4節参照)	高度な解析(2次元静的非線形解析)	第8表による補正	別途積算(第4章第4節参照)	3次元効果	第9表による補正	別途積算(第4章第4節参照)	高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算
歩掛表使用ケース	耐震診断(詳細診断)	耐震補強工事の実施設計																																				
標準的な手順	基本歩掛(第3表)	別途積算(第4章第4節参照)																																				
耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	基本歩掛(第3表)	—																																				
耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	—	別途積算(第4章第4節参照)																																				
高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算																																				
歩掛表使用ケース	耐震診断(詳細診断)	耐震補強工事の実施設計																																				
標準的な手順	基本歩掛(第3表)	別途積算(第4章第4節参照)																																				
耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	基本歩掛(第3表)	—																																				
耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	—	別途積算(第4章第4節参照)																																				
高度な解析(2次元静的非線形解析)	第8表による補正	別途積算(第4章第4節参照)																																				
3次元効果	第9表による補正	別途積算(第4章第4節参照)																																				
高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算																																				
P299	<p>4-3-2-1 耐震診断(詳細診断) 第3-1表(3/3) 2,000m<sup>3</sup>/日以上(急速ろ過方式)浄水場耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の診断条件整理は、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むものとし、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとする。ただし、方法1による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の耐震診断評価における解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 4. 劣化対策の検討とは、構造物調査等により発見された、ひび割れ、鉄筋露出、コンクリート剥離等の劣化劣化部補修方法の検討作業である。</p>	<p>4-3-2-1 耐震診断(詳細診断) 第3-1表(3/3) 2,000m<sup>3</sup>/日以上(急速ろ過方式)浄水場耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の診断条件整理は、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むものとし、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。ただし、方法1～3による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の耐震診断評価、対策後の構造解析及び照査は簡易な解析手法(静的線形解析)とする。 4. 高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、耐震診断評価、対策後の構造解析及び照査に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。 5. 作業項目の耐震診断評価、対策後の構造解析で3次元効果を考慮した解析を行う場合、耐震診断評価、対策後の構造解析に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。 6. 劣化対策検討とは、構造物調査等により、ひび割れ、鉄筋露出、コンクリート剥離等の劣化部補修方法の検討作業である。</p>																																				

## 令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和 6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）
P301	<p>第3-2表(2/2) 2,000m<sup>3</sup>/日未満(急速ろ過方式)浄水場耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の診断条件整理は、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むものとし、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとする。ただし、方法1による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の耐震診断評価における解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 4. 劣化対策検討とは、構造物調査等により発見された、ひび割れ、鉄筋露出、コンクリート剥離等の劣化部補修方法の検討作業である。</p>	<p>第3-2表(2/2) 2,000m<sup>3</sup>/日未満(急速ろ過方式)浄水場耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の診断条件整理は、レベル1地震動及びレベル2地震動を含むものとし、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。ただし、方法1～3による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の耐震診断評価、対策後の構造解析及び照査は簡易な解析手法(静的線形解析)とする。 4. 高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、耐震診断評価、対策後の構造解析及び照査に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。 5. 作業項目の耐震診断評価、対策後の構造解析で3次元効果を考慮した解析を行う場合、耐震診断評価、対策後の構造解析に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。 6. 劣化対策検討とは、構造物調査等により、ひび割れ、鉄筋露出、コンクリート剥離等の劣化部補修方法の検討作業である。</p>
P302	<p>4-3-2-5 共同溝(耐震診断)基本歩掛 第7表 共同溝基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 本表は、1施設あたりの人工であり、複数の施設耐震診断する場合は、施設数を乗じて使用するものとする。 1施設とは、断面方向、縦断方向の2断面の耐震診断を行うものを1施設とする。</p>	<p>4-3-2-5 共同溝(耐震診断)基本歩掛 第7表 共同溝基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 1. 本表は、1施設当たりの人工であり、複数の施設の耐震補強工事の実施設計をする場合は、施設数を乗じて使用するものとする。施設数は断面形状によって決定する。断面形状が異なる場合には、近接していても別施設とする。 2. 作業項目の耐震診断評価は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。ただし、方法1～3による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の耐震診断評価、対策後の構造解析及び照査は簡易な解析手法(静的線形解析)とする。 4. 高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、耐震診断評価、対策後の構造解析及び照査に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。 5. 作業項目の耐震診断評価、対策後の構造解析で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、耐震診断評価、対策後の構造解析に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</p>

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																																																																																				
P303	<新規>	<p>4-3-2-6 浄水場土木施設耐震診断(詳細診断) 2次元静的非線形解析における補正 第8表 浄水場土木施設耐震診断(詳細診断) 2次元静的非線形解析における補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1558 415 2151 661"> <thead> <tr> <th colspan="2">作業項目</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">耐震診断評価</td> <td>解析モデル作成</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>耐震診断</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>耐震性の評価</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>総合評価</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>対策後の検討</td> <td>対策後の構造解析</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">照査</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 浄水場 着水井 水量20,000m<sup>3</sup>/日の2次元静的非線形解析における積算 条件：類似施設に係る補正、設備設計に係る補正なし</p> <p>着水井 耐震診断評価・対策後の構造解析・照査の積算(例) 第3-1表より (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1558 793 2733 1014"> <thead> <tr> <th rowspan="2">積算(例)</th> <th colspan="2">作業項目</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">耐震診断評価</td> <td colspan="2">解析モデル作成</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.8</td> <td>1.6</td> <td>1.3</td> <td>0.8</td> <td>5.0</td> <td>基本歩掛人工×2.2×1.224</td> </tr> <tr> <td colspan="2">耐震診断</td> <td></td> <td>0.8</td> <td>2.0</td> <td>3.1</td> <td>3.1</td> <td>2.0</td> <td>11.0</td> <td>基本歩掛人工×2.3×1.224</td> </tr> <tr> <td colspan="2">耐震性能の照査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td>1.7</td> <td>1.4</td> <td>0.8</td> <td>5.3</td> <td>基本歩掛人工×2.3×1.224</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.3</td> <td>1.1</td> <td>1.1</td> <td>0.3</td> <td>3.4</td> <td>基本歩掛人工×2.3×1.224</td> </tr> <tr> <td>対策案の検討</td> <td colspan="2">対策後の構造解析</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>1.8</td> <td>1.2</td> <td>6.9</td> <td>基本歩掛人工×2.4×1.224</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">照査</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.8</td> <td>基本歩掛人工×1.7×1.224</td> </tr> </tbody> </table> <p>算定人工=基本歩掛人工×2次元静的線形解析に対する比率×水量補正</p> <p>4-3-2-7 浄水場土木施設耐震診断(詳細診断) 3次元効果における補正 第9表 3次元効果における補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1558 1157 1991 1226"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元効果の検討</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 浄水場 着水井 水量20,000m<sup>3</sup>/日の3次元効果における積算 条件：類似施設に係る補正、設備設計に係る補正なし</p> <p>着水井 3次元効果の考慮の積算(例) 第3-1表より (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1558 1371 2733 1476"> <thead> <tr> <th colspan="2">作業項目</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積算(例)</td> <td>耐震診断評価 ～追加</td> <td></td> <td>1.3</td> <td>2.1</td> <td>4.0</td> <td>3.7</td> <td>2.1</td> <td>13.2</td> <td>基本歩掛人工×1.2×1.224</td> </tr> </tbody> </table> <p>算定人工=基本歩掛人工×2次元静的線形解析に対する比率×水量補正</p>	作業項目		補正係数	耐震診断評価	解析モデル作成	2.2	耐震診断	2.3	耐震性の評価	2.3	総合評価	2.3	対策後の検討	対策後の構造解析	2.4	照査		1.7	積算(例)	作業項目		技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考	耐震診断評価	解析モデル作成			0.5	0.8	1.6	1.3	0.8	5.0	基本歩掛人工×2.2×1.224	耐震診断			0.8	2.0	3.1	3.1	2.0	11.0	基本歩掛人工×2.3×1.224	耐震性能の照査			0.6	0.8	1.7	1.4	0.8	5.3	基本歩掛人工×2.3×1.224	総合評価			0.6	0.3	1.1	1.1	0.3	3.4	基本歩掛人工×2.3×1.224	対策案の検討	対策後の構造解析			0.6	1.2	2.1	1.8	1.2	6.9	基本歩掛人工×2.4×1.224		照査		0.8	1.0					1.8	基本歩掛人工×1.7×1.224	作業項目	補正係数	3次元効果の検討	1.2	作業項目		技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考	積算(例)	耐震診断評価 ～追加		1.3	2.1	4.0	3.7	2.1	13.2	基本歩掛人工×1.2×1.224
作業項目		補正係数																																																																																																																				
耐震診断評価	解析モデル作成	2.2																																																																																																																				
	耐震診断	2.3																																																																																																																				
	耐震性の評価	2.3																																																																																																																				
	総合評価	2.3																																																																																																																				
対策後の検討	対策後の構造解析	2.4																																																																																																																				
照査		1.7																																																																																																																				
積算(例)	作業項目		技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考																																																																																																												
	耐震診断評価	解析モデル作成			0.5	0.8	1.6	1.3	0.8	5.0	基本歩掛人工×2.2×1.224																																																																																																											
耐震診断			0.8	2.0	3.1	3.1	2.0	11.0	基本歩掛人工×2.3×1.224																																																																																																													
耐震性能の照査			0.6	0.8	1.7	1.4	0.8	5.3	基本歩掛人工×2.3×1.224																																																																																																													
総合評価			0.6	0.3	1.1	1.1	0.3	3.4	基本歩掛人工×2.3×1.224																																																																																																													
対策案の検討	対策後の構造解析			0.6	1.2	2.1	1.8	1.2	6.9	基本歩掛人工×2.4×1.224																																																																																																												
	照査		0.8	1.0					1.8	基本歩掛人工×1.7×1.224																																																																																																												
作業項目	補正係数																																																																																																																					
3次元効果の検討	1.2																																																																																																																					
作業項目		技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考																																																																																																													
積算(例)	耐震診断評価 ～追加		1.3	2.1	4.0	3.7	2.1	13.2	基本歩掛人工×1.2×1.224																																																																																																													

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和 6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																																																																																																																																
P303	<p>4-3-3 補正 補正は4-3-3-1～4-3-3-3の各補正係数を乗ずるものとする。</p> <p>4-3-3-1 設計対象水量に係る補正 補正対象は、第3-1表、第3-2表のうち設計協議、現地調査、既存資料調査、診断条件整理、浄水池及び共同溝(第3-1表のみ)を除く項目とする。</p> <p>第8-1表 2,000m<sup>3</sup>/日以上 浄水場施設対象水量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="350 562 1380 1066"> <thead> <tr> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2,000～3,000未満</td><td>0.575</td><td>25,000～30,000未満</td><td>1.370</td></tr> <tr><td>3,000～4,000 "</td><td>0.661</td><td>30,000～35,000 "</td><td>1.459</td></tr> <tr><td>4,000～5,000 "</td><td>0.730</td><td>35,000～40,000 "</td><td>1.539</td></tr> <tr><td>5,000～6,000 "</td><td>0.788</td><td>40,000～45,000 "</td><td>1.611</td></tr> <tr><td>6,000～7,000 "</td><td>0.839</td><td>45,000～50,000 "</td><td>1.678</td></tr> <tr><td>7,000～8,000 "</td><td>0.885</td><td>50,000～60,000 "</td><td>1.740</td></tr> <tr><td>8,000～9,000 "</td><td>0.926</td><td>60,000～70,000 "</td><td>1.852</td></tr> <tr><td>9,000～10,000 "</td><td>0.964</td><td>70,000～80,000 "</td><td>1.953</td></tr> <tr><td>10,000～12,000 "</td><td>1.000</td><td>80,000～90,000 "</td><td>2.045</td></tr> <tr><td>12,000～14,000 "</td><td>1.065</td><td>90,000～100,000 "</td><td>2.129</td></tr> <tr><td>14,000～16,000 "</td><td>1.123</td><td>100,000～150,000 "</td><td>2.208</td></tr> <tr><td>16,000～18,000 "</td><td>1.175</td><td>150,000～200,000 "</td><td>2.538</td></tr> <tr><td>18,000～20,000 "</td><td>1.224</td><td>200,000</td><td>2.803</td></tr> <tr><td>20,000～25,000 "</td><td>1.269</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 水量補正は耐震診断を行う各施設単位の処理水量ごとに設定する。 2. 設計水量が200,000m<sup>3</sup>/日を超える場合は、別途考慮する。</p> <p>第8-2表 2,000m<sup>3</sup>/日未満 浄水場施設対象水量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="350 1192 866 1528"> <thead> <tr> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50～100未満</td><td>0.127</td></tr> <tr><td>100～200 "</td><td>0.168</td></tr> <tr><td>200～300 "</td><td>0.223</td></tr> <tr><td>300～400 "</td><td>0.262</td></tr> <tr><td>400～600 "</td><td>0.295</td></tr> <tr><td>600～800 "</td><td>0.347</td></tr> <tr><td>800～1,000 "</td><td>0.390</td></tr> <tr><td>1,000～1,500 "</td><td>0.426</td></tr> <tr><td>1,500～2,000 "</td><td>0.502</td></tr> </tbody> </table> <p>備考 水量補正は耐震診断を行う各施設単位の処理水量ごとに設定する。</p>	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	2,000～3,000未満	0.575	25,000～30,000未満	1.370	3,000～4,000 "	0.661	30,000～35,000 "	1.459	4,000～5,000 "	0.730	35,000～40,000 "	1.539	5,000～6,000 "	0.788	40,000～45,000 "	1.611	6,000～7,000 "	0.839	45,000～50,000 "	1.678	7,000～8,000 "	0.885	50,000～60,000 "	1.740	8,000～9,000 "	0.926	60,000～70,000 "	1.852	9,000～10,000 "	0.964	70,000～80,000 "	1.953	10,000～12,000 "	1.000	80,000～90,000 "	2.045	12,000～14,000 "	1.065	90,000～100,000 "	2.129	14,000～16,000 "	1.123	100,000～150,000 "	2.208	16,000～18,000 "	1.175	150,000～200,000 "	2.538	18,000～20,000 "	1.224	200,000	2.803	20,000～25,000 "	1.269			設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	50～100未満	0.127	100～200 "	0.168	200～300 "	0.223	300～400 "	0.262	400～600 "	0.295	600～800 "	0.347	800～1,000 "	0.390	1,000～1,500 "	0.426	1,500～2,000 "	0.502	<p>4-3-3 補正 補正は4-3-3-1～4-3-3-3の各補正係数を乗ずるものとする。</p> <p>4-3-3-1 設計対象水量に係る補正 補正対象は、第3-1表、第3-2表のうち設計協議、現地調査、既存資料調査、診断条件整理、浄水池及び共同溝(第3-1表のみ)を除く項目とする。</p> <p>第10-1表 2,000m<sup>3</sup>/日以上 浄水場施設対象水量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1561 562 2591 1066"> <thead> <tr> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2,000～3,000未満</td><td>0.575</td><td>25,000～30,000未満</td><td>1.370</td></tr> <tr><td>3,000～4,000 "</td><td>0.661</td><td>30,000～35,000 "</td><td>1.459</td></tr> <tr><td>4,000～5,000 "</td><td>0.730</td><td>35,000～40,000 "</td><td>1.539</td></tr> <tr><td>5,000～6,000 "</td><td>0.788</td><td>40,000～45,000 "</td><td>1.611</td></tr> <tr><td>6,000～7,000 "</td><td>0.839</td><td>45,000～50,000 "</td><td>1.678</td></tr> <tr><td>7,000～8,000 "</td><td>0.885</td><td>50,000～60,000 "</td><td>1.740</td></tr> <tr><td>8,000～9,000 "</td><td>0.926</td><td>60,000～70,000 "</td><td>1.852</td></tr> <tr><td>9,000～10,000 "</td><td>0.964</td><td>70,000～80,000 "</td><td>1.953</td></tr> <tr><td>10,000～12,000 "</td><td>1.000</td><td>80,000～90,000 "</td><td>2.045</td></tr> <tr><td>12,000～14,000 "</td><td>1.065</td><td>90,000～100,000 "</td><td>2.129</td></tr> <tr><td>14,000～16,000 "</td><td>1.123</td><td>100,000～150,000 "</td><td>2.208</td></tr> <tr><td>16,000～18,000 "</td><td>1.175</td><td>150,000～200,000 "</td><td>2.538</td></tr> <tr><td>18,000～20,000 "</td><td>1.224</td><td>200,000</td><td>2.803</td></tr> <tr><td>20,000～25,000 "</td><td>1.269</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 水量補正は耐震診断を行う各施設単位の処理水量ごとに設定する。 2. 設計水量が200,000m<sup>3</sup>/日を超える場合は、別途考慮する。</p> <p>第10-2表 2,000m<sup>3</sup>/日未満 浄水場施設対象水量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1561 1192 2077 1528"> <thead> <tr> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50～100未満</td><td>0.127</td></tr> <tr><td>100～200 "</td><td>0.168</td></tr> <tr><td>200～300 "</td><td>0.223</td></tr> <tr><td>300～400 "</td><td>0.262</td></tr> <tr><td>400～600 "</td><td>0.295</td></tr> <tr><td>600～800 "</td><td>0.347</td></tr> <tr><td>800～1,000 "</td><td>0.390</td></tr> <tr><td>1,000～1,500 "</td><td>0.426</td></tr> <tr><td>1,500～2,000 "</td><td>0.502</td></tr> </tbody> </table> <p>備考 水量補正は耐震診断を行う各施設単位の処理水量ごとに設定する。</p>	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	2,000～3,000未満	0.575	25,000～30,000未満	1.370	3,000～4,000 "	0.661	30,000～35,000 "	1.459	4,000～5,000 "	0.730	35,000～40,000 "	1.539	5,000～6,000 "	0.788	40,000～45,000 "	1.611	6,000～7,000 "	0.839	45,000～50,000 "	1.678	7,000～8,000 "	0.885	50,000～60,000 "	1.740	8,000～9,000 "	0.926	60,000～70,000 "	1.852	9,000～10,000 "	0.964	70,000～80,000 "	1.953	10,000～12,000 "	1.000	80,000～90,000 "	2.045	12,000～14,000 "	1.065	90,000～100,000 "	2.129	14,000～16,000 "	1.123	100,000～150,000 "	2.208	16,000～18,000 "	1.175	150,000～200,000 "	2.538	18,000～20,000 "	1.224	200,000	2.803	20,000～25,000 "	1.269			設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	50～100未満	0.127	100～200 "	0.168	200～300 "	0.223	300～400 "	0.262	400～600 "	0.295	600～800 "	0.347	800～1,000 "	0.390	1,000～1,500 "	0.426	1,500～2,000 "	0.502
設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数																																																																																																																																																															
2,000～3,000未満	0.575	25,000～30,000未満	1.370																																																																																																																																																															
3,000～4,000 "	0.661	30,000～35,000 "	1.459																																																																																																																																																															
4,000～5,000 "	0.730	35,000～40,000 "	1.539																																																																																																																																																															
5,000～6,000 "	0.788	40,000～45,000 "	1.611																																																																																																																																																															
6,000～7,000 "	0.839	45,000～50,000 "	1.678																																																																																																																																																															
7,000～8,000 "	0.885	50,000～60,000 "	1.740																																																																																																																																																															
8,000～9,000 "	0.926	60,000～70,000 "	1.852																																																																																																																																																															
9,000～10,000 "	0.964	70,000～80,000 "	1.953																																																																																																																																																															
10,000～12,000 "	1.000	80,000～90,000 "	2.045																																																																																																																																																															
12,000～14,000 "	1.065	90,000～100,000 "	2.129																																																																																																																																																															
14,000～16,000 "	1.123	100,000～150,000 "	2.208																																																																																																																																																															
16,000～18,000 "	1.175	150,000～200,000 "	2.538																																																																																																																																																															
18,000～20,000 "	1.224	200,000	2.803																																																																																																																																																															
20,000～25,000 "	1.269																																																																																																																																																																	
設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数																																																																																																																																																																	
50～100未満	0.127																																																																																																																																																																	
100～200 "	0.168																																																																																																																																																																	
200～300 "	0.223																																																																																																																																																																	
300～400 "	0.262																																																																																																																																																																	
400～600 "	0.295																																																																																																																																																																	
600～800 "	0.347																																																																																																																																																																	
800～1,000 "	0.390																																																																																																																																																																	
1,000～1,500 "	0.426																																																																																																																																																																	
1,500～2,000 "	0.502																																																																																																																																																																	
設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数																																																																																																																																																															
2,000～3,000未満	0.575	25,000～30,000未満	1.370																																																																																																																																																															
3,000～4,000 "	0.661	30,000～35,000 "	1.459																																																																																																																																																															
4,000～5,000 "	0.730	35,000～40,000 "	1.539																																																																																																																																																															
5,000～6,000 "	0.788	40,000～45,000 "	1.611																																																																																																																																																															
6,000～7,000 "	0.839	45,000～50,000 "	1.678																																																																																																																																																															
7,000～8,000 "	0.885	50,000～60,000 "	1.740																																																																																																																																																															
8,000～9,000 "	0.926	60,000～70,000 "	1.852																																																																																																																																																															
9,000～10,000 "	0.964	70,000～80,000 "	1.953																																																																																																																																																															
10,000～12,000 "	1.000	80,000～90,000 "	2.045																																																																																																																																																															
12,000～14,000 "	1.065	90,000～100,000 "	2.129																																																																																																																																																															
14,000～16,000 "	1.123	100,000～150,000 "	2.208																																																																																																																																																															
16,000～18,000 "	1.175	150,000～200,000 "	2.538																																																																																																																																																															
18,000～20,000 "	1.224	200,000	2.803																																																																																																																																																															
20,000～25,000 "	1.269																																																																																																																																																																	
設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数																																																																																																																																																																	
50～100未満	0.127																																																																																																																																																																	
100～200 "	0.168																																																																																																																																																																	
200～300 "	0.223																																																																																																																																																																	
300～400 "	0.262																																																																																																																																																																	
400～600 "	0.295																																																																																																																																																																	
600～800 "	0.347																																																																																																																																																																	
800～1,000 "	0.390																																																																																																																																																																	
1,000～1,500 "	0.426																																																																																																																																																																	
1,500～2,000 "	0.502																																																																																																																																																																	

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																				
P304	<p>4-4-1 適用範囲 この積算歩掛は、浄水場土木施設のうち標準的な既存鉄筋コンクリート造に係る耐震補強工事の実施設計を業務委託する場合に適用する。 耐震補強工事を行うためには、耐震診断(詳細診断)を行い、既存施設の耐震性の程度を把握し、耐震性能を満足しているかどうかの判断を行う。その後、施設の更新を含めた耐震化対策の検討を経た上で、耐震補強工事の設計を行う手順となる。 本設計歩掛では、この手順を基本として考える一方、耐震診断(詳細診断)の結果、補強を必要としない場合、あるいは耐震診断(詳細診断)を行わず耐震補強を実施する場合を想定し、耐震診断(詳細診断)と耐震補強工事の実施設計の基本歩掛を別々に示した。</p> <p>第1表 耐震診断(詳細診断)と耐震補強工事の実施設計における歩掛表使用ケース</p> <table border="1" data-bbox="350 680 1516 930"> <thead> <tr> <th>歩掛表使用ケース</th> <th>耐震診断(詳細診断)</th> <th>耐震補強工事の実施設計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準的な手順</td> <td>別途積算(第4章第3節参照)</td> <td>基本歩掛(第3表)</td> </tr> <tr> <td>耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)</td> <td>別途積算(第4章第3節参照)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)</td> <td>—</td> <td>基本歩掛(第3表)</td> </tr> <tr> <td>高度な解析(動的解析等)を実施する場合</td> <td>別途積算</td> <td>別途積算</td> </tr> </tbody> </table> <p>次に示す設計業務については別途積算計上する。 (ア) 既存施設が他の施設(公民館等)と一体となっている複合施設 (イ) 耐震化に伴う既存施設の撤去及び浄水場施設の新設 (ウ) 自家発電機設備、制御設備、塩素注入設備及びそれらの建築施設 (エ) 補強工事に伴う大規模な工事用の取付道路及び造成等 (オ) 事業計画(認可設計)に係る業務 (カ) 連続地中壁の本体利用 (キ) その他、第2表に定められていない施設 (ク) 開発行為諸手続</p>	歩掛表使用ケース	耐震診断(詳細診断)	耐震補強工事の実施設計	標準的な手順	別途積算(第4章第3節参照)	基本歩掛(第3表)	耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	別途積算(第4章第3節参照)	—	耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	—	基本歩掛(第3表)	高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算	<p>4-4-1 適用範囲 この積算歩掛は、浄水場土木施設のうち標準的な既存鉄筋コンクリート造に係る耐震補強工事の実施設計を業務委託する場合に適用する。 耐震補強工事を行うためには、耐震診断(詳細診断)を行い、既存施設の耐震性の程度を把握し、耐震性能を満足しているかどうかの判断を行う。その後、施設の更新を含めた耐震化対策の検討を経た上で、耐震補強工事の設計を行う手順となる。 本設計歩掛では、この手順を基本として考える一方、耐震診断(詳細診断)の結果、補強を必要としない場合、あるいは耐震診断(詳細診断)を行わず耐震補強を実施する場合を想定し、耐震診断(詳細診断)と耐震補強工事の実施設計の基本歩掛を別々に示した。</p> <p>第1表 耐震診断(詳細診断)と耐震補強の実施設計における歩掛表仕様ケース</p> <table border="1" data-bbox="1561 680 2727 1001"> <thead> <tr> <th>歩掛表使用ケース</th> <th>耐震診断(詳細診断)</th> <th>耐震補強工事の実施設計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準的な手順</td> <td>別途積算(第4章第3節参照)</td> <td>基本歩掛(第3表)</td> </tr> <tr> <td>耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)</td> <td>別途積算(第4章第3節参照)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)</td> <td>—</td> <td>基本歩掛(第3表)</td> </tr> <tr> <td>高度な解析(静的非線形解析)</td> <td>別途積算(第4章第3節参照)</td> <td>第8表による補正</td> </tr> <tr> <td>3次元効果</td> <td>別途積算(第4章第3節参照)</td> <td>第9表による補正</td> </tr> <tr> <td>高度な解析(動的解析等)を実施する場合</td> <td>別途積算</td> <td>別途積算</td> </tr> </tbody> </table> <p>次に示す設計業務については別途積算計上する。 (ア) 既存施設が他の施設(公民館等)と一体となっている複合施設 (イ) 耐震化に伴う既存施設の撤去及び浄水場施設の新設 (ウ) 自家発電機設備、制御設備、塩素注入設備及びそれらの建築施設 (エ) 補強工事に伴う大規模な工事用の取付道路及び造成等 (オ) 事業計画(認可設計)に係る業務 (カ) 連続地中壁の本体利用 (キ) その他、第2表に定められていない施設 (ク) 開発行為諸手続 (ケ) 水道施設の危機耐性に係る検討 (コ) 浄水施設・排水施設を階層化した施設または水道施設耐震工法指針・解説2022年版に示す水槽付建築物 (サ) 浄水施設・排水施設の屋根及び覆蓋</p>	歩掛表使用ケース	耐震診断(詳細診断)	耐震補強工事の実施設計	標準的な手順	別途積算(第4章第3節参照)	基本歩掛(第3表)	耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	別途積算(第4章第3節参照)	—	耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	—	基本歩掛(第3表)	高度な解析(静的非線形解析)	別途積算(第4章第3節参照)	第8表による補正	3次元効果	別途積算(第4章第3節参照)	第9表による補正	高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算
歩掛表使用ケース	耐震診断(詳細診断)	耐震補強工事の実施設計																																				
標準的な手順	別途積算(第4章第3節参照)	基本歩掛(第3表)																																				
耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	別途積算(第4章第3節参照)	—																																				
耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	—	基本歩掛(第3表)																																				
高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算																																				
歩掛表使用ケース	耐震診断(詳細診断)	耐震補強工事の実施設計																																				
標準的な手順	別途積算(第4章第3節参照)	基本歩掛(第3表)																																				
耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	別途積算(第4章第3節参照)	—																																				
耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	—	基本歩掛(第3表)																																				
高度な解析(静的非線形解析)	別途積算(第4章第3節参照)	第8表による補正																																				
3次元効果	別途積算(第4章第3節参照)	第9表による補正																																				
高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算																																				
P307	<p>4-4-2-1 耐震補強工事の実施設計 第3-1表 (2/2) 2,000m<sup>3</sup>/日以上(急速ろ過方式)浄水場土木施設 耐震補強工事実施設計基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル1地震動に対する計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとする。ただし、方法1による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(構造)における解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は別途計上する。 4. 作業項目の計算(機能)は、補強後の水理計算、設備計算、仮設計算等である。 5. 補強方法は、壁・スラブ・柱の増打、耐震壁の増設等による躯体構造の補強を対象とする。</p>	<p>4-4-2-1 耐震補強工事の実施設計 第3-1表 (2/2) 2,000m<sup>3</sup>/日以上(急速ろ過方式)浄水場土木施設 耐震補強工事実施設計基本歩掛内訳(表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、簡易な解析手法(静的線形解析)で行うものとし、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。 3. 高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。 4. 計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。 5. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、設備計算、仮設計算等である。 6. 補強方法は、壁・スラブ・柱の増打、耐震壁の増設等による躯体構造の補強を対象とする。</p>																																				

## 令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和 6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）
P308 P309	<p>第3-2表 2,000m<sup>3</sup>/日未満(急速ろ過方式)浄水場土木施設 耐震補強工事実施設計基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2009年版方法2～4によるものとする。ただし、方法1による場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(構造)における解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は別途計上する。 4. 作業項目の計算(機能)は、補強後の水理計算、設備計算、仮設計算等である。 5. 補強方法は、壁・スラブ・柱の増打、耐震壁の増設等による躯体構造の補強を対象とする。</p>	<p>第3-2表 2,000m<sup>3</sup>/日未満(急速ろ過方式)浄水場土木施設 耐震補強工事実施設計基本歩掛内訳 (表略)</p> <p>備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2. 作業項目の計算(構造)は、<b>解析手法(静的線形解析)で行うものとし</b>、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説<b>2022年版方法4</b>によるものとする。 3. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b> 4. <b>計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b> 5. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、設備計算、仮設計算等である。 6. 補強方法は、壁・スラブ・柱の増打、耐震壁の増設等による躯体構造の補強を対象とする。</p>
P309	<p>4-4-2-5 共同溝(耐震補強工事の実実施設計)基本歩掛 第7表 共同溝基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 本表は、1施設当りの人工であり、複数の施設の耐震補強工事の実実施設計をする場合は、施設数を乗じて使用するものとする。施設数は断面形状によって決定する。断面形状が異なる場合には、近接していても別施設とする。</p>	<p>4-4-2-5 共同溝(耐震補強工事の実実施設計)基本歩掛 第7表 共同溝基本歩掛 (表略)</p> <p>備考 1. 本表は、1施設当りの人工であり、複数の施設の耐震補強工事の実実施設計をする場合は、施設数を乗じて使用するものとする。施設数は断面形状によって決定する。断面形状が異なる場合には、近接していても別施設とする。 2. <b>作業項目の計算(構造)は、解析手法(静的線形解析)で行うものとし、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法4によるものとする。</b> 3. <b>高度な解析手法のうち2次元静的非線形解析を行う場合、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する耐震計算を含むもので、レベル2地震動の設定を水道施設耐震工法指針・解説2022年版方法2～3によるものとし、計算(構造)及び審査に第8表の補正係数を乗じる。他の解析手法や地震動の設定において方法1による場合は、別途計上する。</b> 4. <b>計算(構造)で3次元効果を考慮した解析を行う場合は、計算(構造)に第9表の補正係数を乗じ、小数点以下2桁目を四捨五入した値を別途計上する。</b> 5. 作業項目の計算(機能)は、標準的な水理計算、設備計算、仮設計算等である。</p>

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																							
P309	<新規>	<p>4-4-2-6 浄水場土木施設 2次元静的非線形解析に係る補正 第8表 2次元静的非線形解析に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1558 415 1991 527"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計算(構造)</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>審査</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 浄水場 着水井 水量 20,000m<sup>3</sup>/日の2次元静的非線形解析における積算 条件：類似施設に係る補正、設備設計に係る補正、掘削深度に係る補正なし</p> <p>着水井 耐震補強設計 計算(構造)・審査の積算(例) 第3-1表より (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1558 667 2724 772"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積算(例) 計算(構造)</td> <td></td> <td>1.2</td> <td>3.3</td> <td>5.3</td> <td>4.7</td> <td>3.3</td> <td>17.8</td> <td>基本歩掛人工×1.9×1.224</td> </tr> <tr> <td>積算(例) 審査</td> <td>0.4</td> <td>1.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.6</td> <td>基本歩掛人工×1.7×1.224</td> </tr> </tbody> </table> <p>算定人工=基本歩掛人工×2次元静的線形解析に対する比率×水量補正</p> <p>4-4-2-7 浄水場土木施設 3次元効果に係る補正 第9表 3次元効果に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1558 926 1991 995"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元効果の検討</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 浄水場 着水井 水量 20,000m<sup>3</sup>/日の3次元効果における積算 条件：類似施設に係る補正、設備設計に係る補正、掘削深度に係る補正なし</p> <p>着水井 3次元効果の考慮の積算(例) 3-1表より (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1558 1142 2724 1247"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積算(例) 計算(構造)へ追加</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>1.7</td> <td>2.8</td> <td>2.4</td> <td>1.7</td> <td>9.2</td> <td>基本歩掛人工×1.0×1.224</td> </tr> </tbody> </table> <p>算定人工=基本歩掛人工×2次元静的線形解析に対する比率×水量補正</p>	作業項目	補正係数	計算(構造)	1.9	審査	1.7	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考	積算(例) 計算(構造)		1.2	3.3	5.3	4.7	3.3	17.8	基本歩掛人工×1.9×1.224	積算(例) 審査	0.4	1.2					1.6	基本歩掛人工×1.7×1.224	作業項目	補正係数	3次元効果の検討	1.0	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考	積算(例) 計算(構造)へ追加		0.6	1.7	2.8	2.4	1.7	9.2	基本歩掛人工×1.0×1.224
作業項目	補正係数																																																								
計算(構造)	1.9																																																								
審査	1.7																																																								
作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考																																																	
積算(例) 計算(構造)		1.2	3.3	5.3	4.7	3.3	17.8	基本歩掛人工×1.9×1.224																																																	
積算(例) 審査	0.4	1.2					1.6	基本歩掛人工×1.7×1.224																																																	
作業項目	補正係数																																																								
3次元効果の検討	1.0																																																								
作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	備考																																																	
積算(例) 計算(構造)へ追加		0.6	1.7	2.8	2.4	1.7	9.2	基本歩掛人工×1.0×1.224																																																	



令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表 改定比較表

令和 6年度版 頁番号	現行（令和6年度）	改定（令和7年度）																																																																																																																																																																
P310	<p>4-4-3 補正 補正は、4-4-3-1～4-4-3-4の各補正係数を乗ずるものとする。補正対象は第3-1表、第3-2表のうち設計協議、現地調査、既存資料調査、浄水池及び共同溝(第3-1表のみ)を除く項目とする。</p> <p>4-4-3-1 設計対象水量に係る補正 第8-1表 2,000m<sup>3</sup>/日以上 浄水場施設対象水量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="350 506 1380 1012"> <thead> <tr> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2,000～3,000未満</td><td>0.575</td><td>25,000～30,000未満</td><td>1.370</td></tr> <tr><td>3,000～4,000 "</td><td>0.661</td><td>30,000～35,000 "</td><td>1.459</td></tr> <tr><td>4,000～5,000 "</td><td>0.730</td><td>35,000～40,000 "</td><td>1.539</td></tr> <tr><td>5,000～6,000 "</td><td>0.788</td><td>40,000～45,000 "</td><td>1.611</td></tr> <tr><td>6,000～7,000 "</td><td>0.839</td><td>45,000～50,000 "</td><td>1.678</td></tr> <tr><td>7,000～8,000 "</td><td>0.885</td><td>50,000～60,000 "</td><td>1.740</td></tr> <tr><td>8,000～9,000 "</td><td>0.926</td><td>60,000～70,000 "</td><td>1.852</td></tr> <tr><td>9,000～10,000 "</td><td>0.964</td><td>70,000～80,000 "</td><td>1.953</td></tr> <tr><td>10,000～12,000 "</td><td>1.000</td><td>80,000～90,000 "</td><td>2.045</td></tr> <tr><td>12,000～14,000 "</td><td>1.065</td><td>90,000～100,000 "</td><td>2.129</td></tr> <tr><td>14,000～16,000 "</td><td>1.123</td><td>100,000～150,000 "</td><td>2.208</td></tr> <tr><td>16,000～18,000 "</td><td>1.175</td><td>150,000～200,000 "</td><td>2.538</td></tr> <tr><td>18,000～20,000 "</td><td>1.224</td><td>200,000</td><td>2.803</td></tr> <tr><td>20,000～25,000 "</td><td>1.269</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 水量補正は耐震診断を行う各施設単位の処理水量ごとに設定する。 2. 設計水量が200,000m<sup>3</sup>/日を超える場合は、別途考慮する。</p> <p>第8-2表 2,000m<sup>3</sup>/日未満 浄水場施設対象水量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="350 1167 866 1503"> <thead> <tr> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50～100未満</td><td>0.127</td></tr> <tr><td>100～200 "</td><td>0.168</td></tr> <tr><td>200～300 "</td><td>0.223</td></tr> <tr><td>300～400 "</td><td>0.262</td></tr> <tr><td>400～600 "</td><td>0.295</td></tr> <tr><td>600～800 "</td><td>0.347</td></tr> <tr><td>800～1,000 "</td><td>0.390</td></tr> <tr><td>1,000～1,500 "</td><td>0.426</td></tr> <tr><td>1,500～2,000 "</td><td>0.502</td></tr> </tbody> </table> <p>備考 水量補正は耐震診断を行う各施設単位の処理水量ごとに設定する。</p>	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	2,000～3,000未満	0.575	25,000～30,000未満	1.370	3,000～4,000 "	0.661	30,000～35,000 "	1.459	4,000～5,000 "	0.730	35,000～40,000 "	1.539	5,000～6,000 "	0.788	40,000～45,000 "	1.611	6,000～7,000 "	0.839	45,000～50,000 "	1.678	7,000～8,000 "	0.885	50,000～60,000 "	1.740	8,000～9,000 "	0.926	60,000～70,000 "	1.852	9,000～10,000 "	0.964	70,000～80,000 "	1.953	10,000～12,000 "	1.000	80,000～90,000 "	2.045	12,000～14,000 "	1.065	90,000～100,000 "	2.129	14,000～16,000 "	1.123	100,000～150,000 "	2.208	16,000～18,000 "	1.175	150,000～200,000 "	2.538	18,000～20,000 "	1.224	200,000	2.803	20,000～25,000 "	1.269			設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	50～100未満	0.127	100～200 "	0.168	200～300 "	0.223	300～400 "	0.262	400～600 "	0.295	600～800 "	0.347	800～1,000 "	0.390	1,000～1,500 "	0.426	1,500～2,000 "	0.502	<p>4-4-3 補正 補正は、4-4-3-1～4-2-3-4の各補正係数を乗ずるものとする。補正対象は、第3-1表、第3-2表のうち設計協議、現地調査、既存資料調査、浄水及び共同溝(第3-1表のみ)を除く項目とする。</p> <p>4-4-3-1 設計対象水量に係る補正 第10-1表 2,000m<sup>3</sup>/日以上 浄水場施設対象水量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1561 537 2591 1043"> <thead> <tr> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2,000～3,000未満</td><td>0.575</td><td>25,000～30,000未満</td><td>1.370</td></tr> <tr><td>3,000～4,000 "</td><td>0.661</td><td>30,000～35,000 "</td><td>1.459</td></tr> <tr><td>4,000～5,000 "</td><td>0.730</td><td>35,000～40,000 "</td><td>1.539</td></tr> <tr><td>5,000～6,000 "</td><td>0.788</td><td>40,000～45,000 "</td><td>1.611</td></tr> <tr><td>6,000～7,000 "</td><td>0.839</td><td>45,000～50,000 "</td><td>1.678</td></tr> <tr><td>7,000～8,000 "</td><td>0.885</td><td>50,000～60,000 "</td><td>1.740</td></tr> <tr><td>8,000～9,000 "</td><td>0.926</td><td>60,000～70,000 "</td><td>1.852</td></tr> <tr><td>9,000～10,000 "</td><td>0.964</td><td>70,000～80,000 "</td><td>1.953</td></tr> <tr><td>10,000～12,000 "</td><td>1.000</td><td>80,000～90,000 "</td><td>2.045</td></tr> <tr><td>12,000～14,000 "</td><td>1.065</td><td>90,000～100,000 "</td><td>2.129</td></tr> <tr><td>14,000～16,000 "</td><td>1.123</td><td>100,000～150,000 "</td><td>2.208</td></tr> <tr><td>16,000～18,000 "</td><td>1.175</td><td>150,000～200,000 "</td><td>2.538</td></tr> <tr><td>18,000～20,000 "</td><td>1.224</td><td>200,000</td><td>2.803</td></tr> <tr><td>20,000～25,000 "</td><td>1.269</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 水量補正は耐震補強工事実施設計を行う各施設単位の処理水量ごとに設定する。 2. 設計水量が200,000m<sup>3</sup>/日を超える場合は、別途考慮する。</p> <p>第10-2表 2,000m<sup>3</sup>/日未満 浄水場施設対象水量に係る補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1561 1199 2074 1535"> <thead> <tr> <th>設計水量(m<sup>3</sup>/日)</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50～100未満</td><td>0.127</td></tr> <tr><td>100～200 "</td><td>0.168</td></tr> <tr><td>200～300 "</td><td>0.223</td></tr> <tr><td>300～400 "</td><td>0.262</td></tr> <tr><td>400～600 "</td><td>0.295</td></tr> <tr><td>600～800 "</td><td>0.347</td></tr> <tr><td>800～1,000 "</td><td>0.390</td></tr> <tr><td>1,000～1,500 "</td><td>0.426</td></tr> <tr><td>1,500～2,000 "</td><td>0.502</td></tr> </tbody> </table> <p>備考 水量補正は耐震補強工事実施設計を行う各施設単位の処理水量ごとに設定する。</p>	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	2,000～3,000未満	0.575	25,000～30,000未満	1.370	3,000～4,000 "	0.661	30,000～35,000 "	1.459	4,000～5,000 "	0.730	35,000～40,000 "	1.539	5,000～6,000 "	0.788	40,000～45,000 "	1.611	6,000～7,000 "	0.839	45,000～50,000 "	1.678	7,000～8,000 "	0.885	50,000～60,000 "	1.740	8,000～9,000 "	0.926	60,000～70,000 "	1.852	9,000～10,000 "	0.964	70,000～80,000 "	1.953	10,000～12,000 "	1.000	80,000～90,000 "	2.045	12,000～14,000 "	1.065	90,000～100,000 "	2.129	14,000～16,000 "	1.123	100,000～150,000 "	2.208	16,000～18,000 "	1.175	150,000～200,000 "	2.538	18,000～20,000 "	1.224	200,000	2.803	20,000～25,000 "	1.269			設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	50～100未満	0.127	100～200 "	0.168	200～300 "	0.223	300～400 "	0.262	400～600 "	0.295	600～800 "	0.347	800～1,000 "	0.390	1,000～1,500 "	0.426	1,500～2,000 "	0.502
設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数																																																																																																																																																															
2,000～3,000未満	0.575	25,000～30,000未満	1.370																																																																																																																																																															
3,000～4,000 "	0.661	30,000～35,000 "	1.459																																																																																																																																																															
4,000～5,000 "	0.730	35,000～40,000 "	1.539																																																																																																																																																															
5,000～6,000 "	0.788	40,000～45,000 "	1.611																																																																																																																																																															
6,000～7,000 "	0.839	45,000～50,000 "	1.678																																																																																																																																																															
7,000～8,000 "	0.885	50,000～60,000 "	1.740																																																																																																																																																															
8,000～9,000 "	0.926	60,000～70,000 "	1.852																																																																																																																																																															
9,000～10,000 "	0.964	70,000～80,000 "	1.953																																																																																																																																																															
10,000～12,000 "	1.000	80,000～90,000 "	2.045																																																																																																																																																															
12,000～14,000 "	1.065	90,000～100,000 "	2.129																																																																																																																																																															
14,000～16,000 "	1.123	100,000～150,000 "	2.208																																																																																																																																																															
16,000～18,000 "	1.175	150,000～200,000 "	2.538																																																																																																																																																															
18,000～20,000 "	1.224	200,000	2.803																																																																																																																																																															
20,000～25,000 "	1.269																																																																																																																																																																	
設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数																																																																																																																																																																	
50～100未満	0.127																																																																																																																																																																	
100～200 "	0.168																																																																																																																																																																	
200～300 "	0.223																																																																																																																																																																	
300～400 "	0.262																																																																																																																																																																	
400～600 "	0.295																																																																																																																																																																	
600～800 "	0.347																																																																																																																																																																	
800～1,000 "	0.390																																																																																																																																																																	
1,000～1,500 "	0.426																																																																																																																																																																	
1,500～2,000 "	0.502																																																																																																																																																																	
設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数	設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数																																																																																																																																																															
2,000～3,000未満	0.575	25,000～30,000未満	1.370																																																																																																																																																															
3,000～4,000 "	0.661	30,000～35,000 "	1.459																																																																																																																																																															
4,000～5,000 "	0.730	35,000～40,000 "	1.539																																																																																																																																																															
5,000～6,000 "	0.788	40,000～45,000 "	1.611																																																																																																																																																															
6,000～7,000 "	0.839	45,000～50,000 "	1.678																																																																																																																																																															
7,000～8,000 "	0.885	50,000～60,000 "	1.740																																																																																																																																																															
8,000～9,000 "	0.926	60,000～70,000 "	1.852																																																																																																																																																															
9,000～10,000 "	0.964	70,000～80,000 "	1.953																																																																																																																																																															
10,000～12,000 "	1.000	80,000～90,000 "	2.045																																																																																																																																																															
12,000～14,000 "	1.065	90,000～100,000 "	2.129																																																																																																																																																															
14,000～16,000 "	1.123	100,000～150,000 "	2.208																																																																																																																																																															
16,000～18,000 "	1.175	150,000～200,000 "	2.538																																																																																																																																																															
18,000～20,000 "	1.224	200,000	2.803																																																																																																																																																															
20,000～25,000 "	1.269																																																																																																																																																																	
設計水量(m <sup>3</sup> /日)	補正係数																																																																																																																																																																	
50～100未満	0.127																																																																																																																																																																	
100～200 "	0.168																																																																																																																																																																	
200～300 "	0.223																																																																																																																																																																	
300～400 "	0.262																																																																																																																																																																	
400～600 "	0.295																																																																																																																																																																	
600～800 "	0.347																																																																																																																																																																	
800～1,000 "	0.390																																																																																																																																																																	
1,000～1,500 "	0.426																																																																																																																																																																	
1,500～2,000 "	0.502																																																																																																																																																																	